定價一部金參錢五厘 一ケ月分金七錢 半年分金四拾貳錢 全冊無郵送料
廣告料一行六拾錢
本號全部禁轉載

愛國婦人

每月二回 五日廿日發行
發行所 東京麹町區(牛ケ淵公園) 愛國婦人發行所
印刷兼發行人 山澤俊夫
編輯人 永持德一

社説

友情(二)

世に僞友なるものあり。表面は如何にも深切らしく、頼もしげなる事を言へども、口と心は裏腹にて、かうして、向ふを油斷させ、向ふが、信用して、何も彼も打開けて話すを、篤と聞きおき、それにて策略を考へ、機の乘ずべきあらば、向ふを陷れ、踏み臺にして、自分一人がよい事をせんとするなり。「その友の肉を食ふ」(耶米利亞)ものなり、此の如きは、最も卑劣なる行爲にして、人間の仲間入りすべきものにあらず。されば、西洋の語にも「僞りの友は、明かに敵と名乘れる者よりも惡し」とあり。始めより敵と分かり居らば、その覺悟あれども、友達顏して、その實、敵なるは、その禍測るべからず。經に曰く

佛言はく、惡知識(惡友)に四輩あり。一には、内には怨む心あれども、外に強いて、智識(友)となる。二には、人の前にては、好言し、背後にては、惡言す。三には、急ある時にあたり、人の前にては、愁苦し、背後にては、歡喜す。四には、外に、親厚の如くして、内に、怨謀を興す。

と。禍心を藏する者、陰險なる者を、友とせる者は、憐むべきかな。彼れは、一生惡魔に咀はれたればなり。蘇國の詩人ロバート、バーンズは、不實の友を後に、今や世を辭せんとする者の心中を歌ひて、「蒼白き月は、今や、白き波の彼方に沈まんとし、我が生活の日も將に入らんとす。さらば、僞りの友よ、さらば。余は、もはや、卿等を煩はさゞるべし」といへり。あゝ罪深き者は、僞友なるかな。佛者をして、言はしめば、正に、死しては、焦熱地獄に墮して、阿鼻叫喚の大苦惱を受くべきものなり。

されば、友をまうくるには、最も愼まざるべからず。猥りに、友をもうくること勿れ。「多の友をまうくる人は、遂にその身を亡す」(箴言)。友は、金錢、物品、飮食、或は官職を以て、買ふべきものにあらず。買へるは、眞の友にあらず。友は、たゞ心を以て、求むべきのみ。以上我等は、多く、友の贋せ者、僞友、惡友に就て說けり。然らば、眞の友、善き友とは、如何なるものぞ。

ローマの賢人シセロは曰く、「友情は、その有用なることに就て、一人も異論なき世界唯一のものなり」と。誰れか、友を不用なりといふぞ。不用なるは、眞の友にあらず。友は、我が悲みを分ちて、半分とし、我が樂しみを傳へて、信とするものなり。友ありて、世に樂しみあり。希望あり。友あるものは、落膽するを須ゐず。友は如何なる場合にも、我れを見棄てざればなり。

我が家庭にあらずして、我が家庭の如きものを求めんとならば、友の家を訪づるべし。深切にして、心おきなく、如何にも頼もしく心地よくして、世は極樂の感あるべし。持つべきものは、友なるぞや。

「多の友をまうくる人は、遂にその身を亡す。但し、兄弟よりも、たのもしき知己もまたあり」(箴言)。向日葵の日に向て渝らざるが如く、友は友に向ふて、渝らざるなり。友は如何なる場合にも友なり。些細なる事にて、友たるをやむるが如きは、始より友にあらざるなり。セメントの浪に洗はれて、益々堅きが如く、友情は、困厄に遭ふて、益々堅し。されば、艱難は、友情の試金石なり。艱難に堪へざる友情は、賴むに足らず。眞の友情は、此の如く、薄弱なるものにあらざるなり。眞の友は、雷同者にあらず。我れの意を迎へて、一の「否」をも、言はざるが如きものにあらず。時には我れと爭ふことあり。苦言を呈することあり。されど、そはみな我れを思ふの誠心誠意に出づるものなり。諺にも、雨降つて地固るとあるが如く、反駁論爭も、その性質如何によりては、却て友情を固むるものなり。

「子の曰く、君子は周して比せず、小人は比して周せず」(論語)と。こは、小人は表面相和して、心中和せず、君子は時に相爭ふことあるも、心中に蟠まりなくして、親厚なるを謂ふなり。經にもまた、

善智識に亦四輩あり。一には、外は、怨家の如くして、内に厚意あり。二には、人(友)の前にては直諫し、外にては、人の善を說く。三には、病み煩ひの時、又は、罪人となりし場合には、驚き恐れて、これを救ふ。四には、人の貧賤を見てはすておかず。方便を求めて、これを富まさんと欲す。

といへり。されば、眞の友を有するものは、幸福なり。貧しくとも、我れ等はこれを富めりといはむ。

(正誤。前號社說中、一段二四行「かりに」は「こゝに」。二段四行「飲物」は「飮食」。同一〇行「易く」は「易し」。同、「人間には」は「人間は」。二段四一行、「貧しく」は「貧しくして」。三段一二行「縛噬」は「摶噬」のいづれも誤植)

當代百家選(十五)　大雅堂夫婦　京都　國持棠圃氏筆

圖書俱樂部

▽白夜集　日本橋箔屋町十四　春光閣

露國名著の飜譯集である。露國名著にも種々あるが此集は就中ツルゲーネフ、プーシキン、コロレンコ、チエホーフ、ゴーリキイ五大作家短篇中最も出色のものばかりが收められてある。譯述者昇曙夢君の自序に――作者には作者固有の調と云ふものがあり作物には作物特有の色と云ふものがある。…何うかして是等の趣きなテックストの上から傳へて見たいと努力した最初の試みが本集である。――と斷うあつた。そこで試みに餘か面白さうであつたから此集に譯出されたツルゲーネフ短篇のうち『連夢』を選んで一讀した。プーシキンのうち『吹雪』を一讀した。コロレンコの『奇火』とゴーリキイの『惡魔』とチエーホフのうち『拳銃』とを一讀した。成る程と思つた。成る程ロシアのらしい香ひがすると思ふた。深い處があると思ふた。不透明のやうで透明な處があると思ふた。淺い單調な透明のやうで何處やら不透明の小說なぞは無暗に出る。出るけれども固有の色も特有の調も無いから、多くの印象を讀過の後止め得ぬ。左樣いふ作に飽き〳〵して居る姉妹方は此の新しい『白夜集』から特殊の味を味はうが宜い。快樂と共に得る處が尠くないであらう。紙面に餘白が乏しいから各篇に就いて一々の色と匂ひとを紹介することが出來ぬのが遺憾である。定價金一圓。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論議

清國の事變と婦人の力

男爵　田　健次郎

清國の凶變は實に氣の毒な次第である清國の國柄ては當然起るべき害の性質かは知らぬが、斯の如き變事は清國の政弊が然らしめしものと申さねば、他に適當な言葉がありません。殊に凶變の際には彼の宦官の輩が殊更その勢力を濫用するが爲め、宮中以外の政治家連は、空しく袖手傍觀して默認するより他は無いのであります。

我邦にても斯の如き事が德川家に存在し、八代將軍吉宗公が彼の大奧の力に依りて、紀州家から入つて將軍となりしが如きは著るしい實例であります。が、清國の如き制度文物ては、吉宗公が將軍となりしよりも一層甚しき軋轢が宮中に行はれたことは明かな事と思ひます。元來清國では康熙帝以來、皇帝在世中に皇太子を定めざる慣例であるが故に、西太后病んで崩御あらせらるゝの時、皇嗣を遺詔されたと云ふも、眞實なるものと信ずることは出來ぬ。況んや、皇帝も間もなく崩御せらるゝが如きを見れば、陰謀のあつたことは爭ふべからざることゝ思ひます。

彼の清國各地の總督の如きは、兵馬の權も裁判權も行政權も握つて居るから、餘程勢力あるものゝやうに、一般に日本ては思ふて居るけれども、清國の制度ては如何なる總督でも勝手に任免せらるゝ故、中央政府の權力は想像以外に力强きものであります。て、ありますから宦官の勢力は仲々侮ることを得ない次第て御座ります。從つて今回も亂暴することを宮中のもの等が企てたかと想像するより他は致方はありません。

總督等が直接陛下に謁見を許さるゝにあらずして、必ず宦官の手を經るのでありますから宮中は明かに一城郭を爲して居るのです。明朝時代には宦官の數が三十萬人もあつたことは正史に記してある通りて、明朝は全く宦官の爲めに亡びたと云ふても宜い程てありました。爲めに清朝となりて、康熙帝が其弊害を曉り、其數を減じたと正史に書いてありますが數が減じたところて、其數が三千もあるのですから、其三千の宦官等が如何なる事をも企だてられる。從つて大いなる弊害を爲し來つたことは明かな事實でありますから、今回の清國事變が、清國の大亂となると云ふ程のことはありませんが、宮中での爭亂は起り居るものと見て宜しからうと思ひます。

日本が清國保全の爲めに干渉をせねばならぬと云ふのは、清國以外の外國の壓迫があつた時に限るのでありますから、今回の如き問題に口を出す筈はありません。唯だ新皇室の爲めに祝賀を致し、また弔詞を述べる爲めに早速相當なる人が派遣せらるゝのは、明白なる國際上の禮義と思ひます。

今回の事變だけては、今後如何に成り行くとも東洋の平和が大紛亂に陷ることは決して無いと保證します。兎に角、西太后と云ふ婦人の力は偉大なるものでありましたから、其崩御せられたる清國の損失は大なるものと申さねばなりませぬ

東京裁縫女學校長渡邊辰五郎先生遺稿

高等裁縫講義

菊判五百五十頁
○定價金壹圓貳拾錢
○豫約特價金七拾錢
○郵送料東京市內四錢其他は八錢

○豫約申込は通知のみにて代金は書物出來の時にても差支なし○豫約申込者壹千人に滿つるを待ちて出版に着手すると○申込み豫定に越ゆる時は更に豫約特價を引下ぐべし

謹みて親愛なる讀者諸君に申上候今般御發布あらせられ候戊申詔勅の御趣旨を體し業を勵み儉約を守らんとするは自ら家事萬端を齊ふべき素養を修むる事最も肝要と存候例へば裁縫割烹の如き之を他に托するの不經濟は申す迄も候はず就ては此度家事の上に實用となるべき良書を選び順次に發行し出來得る限りの廉價を以て婦人方に配布せんことを思立ち其第一着手として「高等裁縫講義」を豫約出版致すべく候何卒微意を諒とせられ知人方へも紹介せられ陸續御申込あらんことを切に希望致候

此書は日本裁縫界の泰斗故渡邊先生が十數年間大日本女學會の爲めに懇に講義されしもゝの中より粹を拔きて各家庭に必須なるものを集めしにて「書物に依りて實地に裁縫の出來るは先生の講義の外に無し」とは夙に世の定評ある所に候其要目は

○袴（男子用、大人物十種子供物八種、女子用、大人物九種子供物三種）○女小袖○本比翼、附比翼○單衣本襲、半襲○帶（丸帶、鯨帶、男帶）○夜具（夜着五種、布團四種、ドテラ、西洋寢衣二種、寢冷不知二種、蚊帳三種）○東コート、合羽○油單（挾箱、簞笥、長持）○改良女服（大人物子供物）○婦人用猿股○西洋前掛（○大人物子供物）○海水浴着○子供洋服（六種）○被物類及び龜の甲腹掛○足袋、脚絆、手搾、手甲○半纒、腹掛半被類

右各種共一々詳細なる裁方寸法の圖解を示し懇切に縫方順序の説明あり○尙此次に發行すべき「普通裁縫講義」には子供大人の着物、羽織、被風、股引、シャツ等揭載可致候

東京市麴町區飯田町一丁目　愛國婦人發行所　電話番町五百二十番　千七百四十五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東西相違の二點

—演説要領筆記—

男爵　坂谷芳郎

私が近者歐米を視察致しました結果、東西兩洋相違につき著るしく感じた二點を申し上げますと、第一は西洋人は

△獨立心が頗る發達し

依賴心の極めて尠い點でありますが、斯く獨立心の餘り強い結果、家族の關係が餘程違つて居るやうに思はれます。日本の家族なぞでは子は父に、弟は兄に、妹は姉に依賴する點が多いと思ひます。――西洋の人は小供が轉んでも親は助けて起さない。倒れる位なら乾度一人で起きれる。人間は

△何處までも獨立

て適らなければならぬと云ふ事を、小供のうちから敎へるのであります。此頃米國の合衆國から加奈陀へ移住する者の多いのは、合衆國の親達が己は何年前に腕一本で合衆國へ來て、今何百萬圓の財産を作つた。今日の加奈陀の狀態は恰も己が何年前來た時の合衆國同樣であるから、郎も腕一本で加奈陀へ往つて、何百萬圓の財産を造れ、父に出來た事の子に出來ない理由は無いと、斯う言つて子の

▽獨立心を皷舞す

る結果であつて、――一事が萬事、此やうにして、獨立心の發達は社會萬般の上に著しく顯れて居ります。

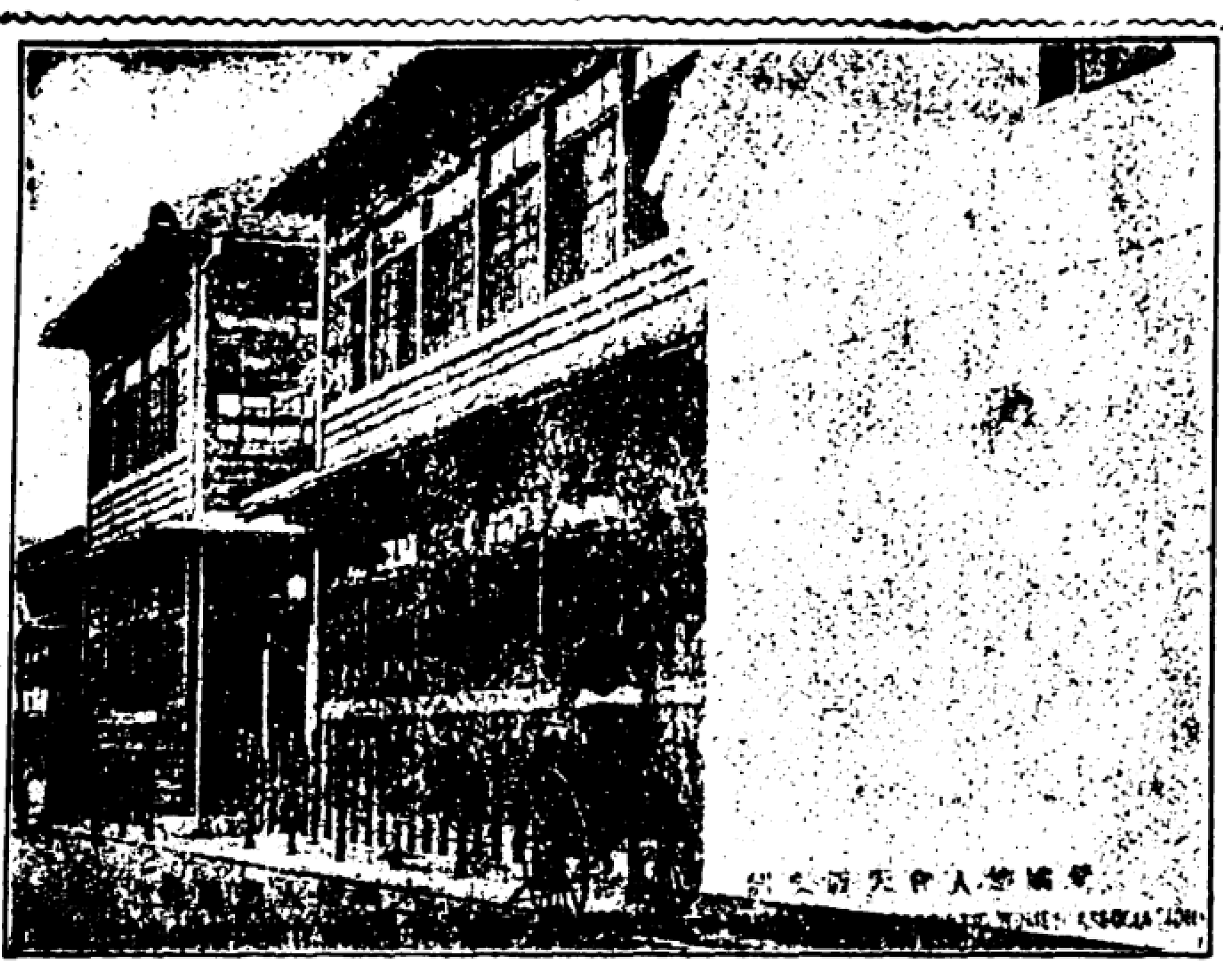
それから、私の見た第二の相違した點は、西洋の人は

▽娛樂の爲めに生活

して居ると云ふ有樣で、人類として共に樂しむと云ふ風が見えるのであります。歐米の人は樂しむ爲めに日々の働きを爲るので、英國などの少し大頭株になると日曜は無論休みますが、其上は週の終日と云つて、一週間の終りの金曜日から土曜日、日曜日へかけて、何處かへ行つて仕舞ふ。月曜には未だ歸つて來ぬ。殘る三日の中に大祭日がある、休日があると云ふ狀態。併し樂しは

△衆と共に樂む

と云ふ風が各方面に顯はれて居る。これとは反對に、日本では働く方に努めるのみで、衆と共に樂しむ方法が何うも少い。男子の樂しみは概して酒色であるが、御當人は樂しいか知らぬが、他迷惑である。西洋にも此樣な秘密の樂みがあるかは知らぬが、それは兎に角、衆と共に樂むことが發達して居つて、公園でも、動物園でも、夜會でも外に迷惑を與へぬやうな公德が行はれて居るのである此獨立心の強い事と、衆と共に樂しむ爲めに働くと云ふ二點は、私が歐米視察中、新たに著るしく感じた所であります



新築せる愛國婦人會大阪支部外面全景

美顔料　パール　平尾分店

女教員の衛生

—女子教育會講演要領—

醫學博士　三宅秀

◎私のお話を致さうと云ふ此教員衛生と云ふことは、今より凡五十七年程前、獨逸で萬國學校衛生會議のありました時分に、始めて此教員衛生の忽せにす可からざることを唱へ出したのである。

◎昨年復萬國學校衛生會議が英國倫敦に於て開かれましたが、其時座長の演舌した言葉の裡に面白いことを申して居ります。從來の學校衛生と云ふものは、生徒と學校校舍の衛生のことばかりを論じて居つて、少しも教員の衛生のことに就ては云つて居らぬ。學校と云ふものは決して生徒と校舍ばかりで成立するものでは無い。鼎の足の如く三つ揃はなければ決して完全とは云へない。教員の衛生のことに就いて少しも構はんと云ふのは、實に間違つた話である。と斯う申して居ります。此三者は鼎足の形をなして居るものであるから、これは極めて重大なる要件であらうと信じます。

◎殊に女教員の衛生に就いては、教員衛生の中で最も能く注意を拂はなければならぬと思ひます。女子は何うしても男子よりは身體も虛弱であるから、自然疾病に罹り易く、隨つて長く教職に堪ゆることが六ケ敷なる。此點から考へれば教員自らも大いに注意を拂はなければなりませぬ。又國家經濟の上から申しても大切な事柄で御座います。

◎女教員はどうしても、男教員に比較して疾病に犯され易い。さうして教員は總じて若死をする者が多い、殊に夫が女教員に多くして、其等の中に於いても、都會に奉職して居る者と、田舍に居る者とは、非常なる差であるから、都會の教育に從事する者は、一層の注意をせなければならん。

◎學校を出て就職をしてから、四五年を經ると云ふと、大抵病氣に罹る。其病氣の多くは、神經衰弱、或は肺病に陷る者が多い、殊に咽喉の病氣が多くして、丁度宗教家の如くに、聲を始終使つて居りますから、咽喉は餘程大切に注意を致さなければなりませぬ。

◎咽喉を大事にすると云つても、先づ第一に聲を儉約することが必要であります。廣い教場に大勢の生徒を集めて席末の方に居る者にも、能く解らせるのは仲々骨の折れる仕事で、私なども經驗のあることであるが、如何に聲帶の丈夫な人でも多少痛めるので御座います。殊に女教員は尙更であります。申すまでもありませぬが、煙草と酒は衛生上非常に害がある、此聲を大切にすると云ふことの上に於いては、斷じて酒と煙草とは禁じなければなりませぬ。

◎誠に恐るべきは神經衰弱、或は肺病。殊に神經病は非常なる、然も密接なる關係を有して居るやうである。西洋では癲狂病に行つて見るのに、癲狂人三十人を見る毎に教員一名を見ると云ふことであります。概して其等は中學以上の教員に多いと云ふことであります。こう云ふことは他から如何ともすることは出來ませぬから、教員自身が大に氣をつけて警戒をしなければ、不幸なる境遇に陷らなければならぬやうな破目になりますから、注意をして戴き度と思ひます。

◎夫から特に御注意を申上度のは女教員は男教員と違つて月經或は出產等のことがありますから、此點に就いては餘程考究せなければならぬ點であつて、又當局者とも交涉して然る可き方法を講じなければならぬことゝ信じます。殊に出產等の場合に於いては、產婦をして充分なる保養を盡すことを得せしめなければならぬ。其外月經の場合にも女教員に對しては適當な方法を設けて之が救濟策を講ずるのは目下の急務であらうと思ふ。

御園化粧品目錄
畏き邊りの御料に召させ給ふ
完全無鉛高貴御化粧料
長谷部仲彥氏發明
御料　御園白粉
煉製　御園白粉　純白。淡紅色　濃化粧。顏ぬり用ねりおしろい　壜入金二十錢。金三十五錢。金七十五錢　特製金廿五錢。金五十錢。金一圓。金三圓
樂屋用　御園白粉　舞臺化粧用。濃化粧專用固煉おしろい　小器 金四十錢　大器 金七十錢
との粉色　御園白粉　舞臺化粧用。砥の粉代用。肌色固煉おしろい　壜入 金四十錢　硝子器入 金一圓
水製　御園白粉　薄化粧用。純白、淡紅色。水おしろい　壜入 金二十五錢　大壜 金五十錢
粉製　御園白粉　洋風濃薄化粧用及顏なほし用。粉おしろい　純白。淡紅色　紙包金十錢。紙函入金廿錢。壜入金五十錢　かくし化粧用ポット付紙函入金五十錢
美顏料　御園クレーム　洋風化粧白粉下。かくし化粧下兼用　小器 金貳拾錢　大器 金五拾錢
濃化粧用　御園の蕾　舞臺化粧及素顏濃化粧專用白粉下　錫入 金十錢
化粧水　御園四季の花　あれ性の人に適する化粧水　錫入 金貳十錢　大壜 金五十錢
化粧水　御園ときは水　脂質の人に適する化粧水　壜入 金十五錢　大壜 金五十錢
打白粉　御園なでしこ　御中用顏なほし。あせどめ用。はや化粧　紙包 金十錢　かくし化粧 金十錢
香油　御園香油　髮の毛黑く。艷麗しくなる水油　壜入 金三十錢　大壜 金五十錢
香水　御園香精　純粹の花精のみを以て製したるハンカチーフ用　壜入 金三圓　別器 金五圓
化粧香水　御園の橘　芳香果精を以て製したる化粧用香水　大壜入 金一圓
齒磨　御園齒磨　長谷部仲彥氏多年の研究に依りて調製したる　壜入 金二十錢　大器 金五十錢
製造本舖　東京芝　伊東胡蝶園
發賣元　小間物化粧品問屋　東京日本橋區橘町四丁目　丸見屋商店　(長)電話浪花四八番　振替貯金六五三六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭

世界孝女傳
埼玉の竹内いし女

日々に接觸し來る東西兩洋文明とやらんの怪しき浪に、世の若き定めなき心の輩の、淺間しうもたゞよはされて、心の底の礎までも打ち動ぎ、神代この方絕えず盡せぬ日の本の誠の道さへ、歩みなやめるが今の世には屢あるぞうたてさの極めなれ。

孝は百行の基とぞ云ふなる。さるを此百行の基てふ孝の道さへ餘所ごとに聞きなすが多き世に、埼玉縣秩父郡兩神村に此竹内いし女あり、その善行は隱れたれど何時しか現はれて、先つ頃賞勳局より其善行を表彰せんとて綠綬褒章を授與せられたりとは、聞くだに嬉しき事どもならずや。

こゝに右いし女の平常に就き傳へられつることゞもを記さんに、資性順良、父母に事へて至孝、主に事へて忠勤なりしに、天は此孝女をしていよゝ其美しき心を彰さしめんとてや、父は多年病を患ひ來耜を執る能はず、祖父なる人も亦た病の床に打臥しけり、さればいし女幼弱の身を以て母を扶けて克く稼穡を勵みしも家益貧しくなり行くばかりにて、果ては其日〳〵の烟さへ揚げなやみ行きしてそ、うたてけれ。

されば、いし女は愈々こゝに猛進の志をゝしたて、同じ兩神村なる醫師堤玄篤がり行きて其婢となり、おのが得し其賃錢もて湯藥を進めたりとかや。然るに天はいよゝ此孝女が鐵石の心を試んとて母また病の床に就けり。いし女が心いかにぞや。されど女は更に屈せず、益々孝道を之れ勵み、看護いよ〳〵勤めたりとは、實に美しき玉の如き心にて、強き鐵の如き魂の女とこそ云はめ。

いし女が至孝の看護は、いかに病める父の心をや慰めけむ。されど天命は之れを如何ともせん方なく、父は遂に斯土を辭しき。いし女この時の悲嘆慟哭察するに餘りあり。

いし女は主家現主に至るまで三世に歷事し、艱難避けず、勞苦厭はず細大の家事を一身にひき受け、恪勤懈らず、殊に老屋を購ひ、母を別居せしめて厚く扶養して其命を全からしめ、或ひは弟の怠惰貧困なるを憫れみて財資を與へて生業を營ましめ、また、特に婚嫁を勸むるものあるも孝養の缺くるを懼れて肯んぜざるが如きは、なか〳〵に尋常一樣の人々の企て及ばざる、松の常綠の變らざる節操を窺ふに足るべく、この一事を以てするもいし女が其の名の如く至誠鐵石の心情を知るに足るべきなり。

いし女は此孝行の心と忠勤の志を持して更らざること六十有餘年の久しき一日の如し、故に閭鄕その至行を稱へて止ざりしかば遂にかしこくも勅定の綠綬章を賜ひ其善行を表彰せられたるなりと云ふ。

附けて云ふ。愛國婦人會埼玉支部職員より組織されたる玉心會長よりは、いし女の孝心をめでゝ近く金員を贈られ、また同會本部佐藤會計監督よりも、前記玉心會長宛て、いし女の至誠至孝を嘉する手翰もろとも金若干圓を贈られきとぞ。

スミレ香水
東京濱町
平尾分店

臺所中心主義
ドクトル　川瀨元九郎

四

臺所を改善する結果、女中より受ける損害の程度が尠くなるのであります。臺所が美麗であれば、隨つて女中もそれ程に粗末にしておく事がないやうになる。不潔であればこそ、來る女中も來る女中も、甚だ不始末な事をするやうになるのであります。其他女中をする人の品格が自然に高くなるのであります。如何となれば、例へば銀行や諸官省に判任幾等とかになつて六圓乃至十圓位の給料を支給されてゐても、それで食ひもせねばならず着もせねばならぬとやうに、なかなか此位の給料で足りる事はありません。一般の生活程度が高くなり、四五圓の給料を支拂ふ事が出來るやうなれば、今のやうな無學文盲なものばかりでなく、多少教育ある婦人が、家事の見習い傍、雇はれる事となるのであります。當然一般女中奉公するものの品格が自然に高まる所以であります。かくなれば臺所に於ける食物の取扱ひは無論の事、器具破損の程度も少くなりませう。有形無形に係らず其家庭に利益するところは、甚だ多い事と信ずるのであります。

今のやうな臺所の狀態では、客に馳走をしやうと思つても、それが到底十分に出來かねる。先づ第一は主婦たる人が、料理の心得がないから、何一つ家庭で出來ぬ、それと云ふものは、つまり平常主婦たる者が、臺所に近親まないからであるのであります。已むを得ないから、料理屋に行く、そこで御馳走ばかりでは物足りぬから、藝者を呼ばうと云ふ事に少し位の費用の高むは已むを得ないとしてこれが人間墮落の動機となつて來るのであります。是に於いて家庭もなにもあつたものではない。眞に氣の毒な事となつて仕舞ふのであります。

家庭で、實際相當の料理が出來、多少の客も待遇する事が出來る事となれば、子女のため非常な都合のよい事があるのであります。それは何かと申しますと、實に幾十年來問題になつてゐる男女の交際の實行が出來る事であります。時々折々、友人や親族を集めて、晩餐會を行ふ時、親もある、兄も同席、而して此間に交際をする、實に純潔な事が行はるるのであります。徒に出來もしない空理空論を併べて、男女交際を論じやうより、かくすれば、實に安全に雜作なく出來てくるではありませんか。此が臺所を美にするよりして得たる最も有利なる所得であらうと思ひます。

それからまだ利益な事がある。それは主婦が臺所に親しみ御馳走が出來るやうになつた結果、料理がうまくなりますれば、終日の戰鬪に疲れて歸つて來た主人への慰藉は實に甚だ多いわけであるのです。少し位お腹が空いても、我慢して歸つて來る、妻君の料理程御馳走はないと心得るやうになつたら、家庭平和の上に大に有益なる事であらうと信ずるのであります。

五

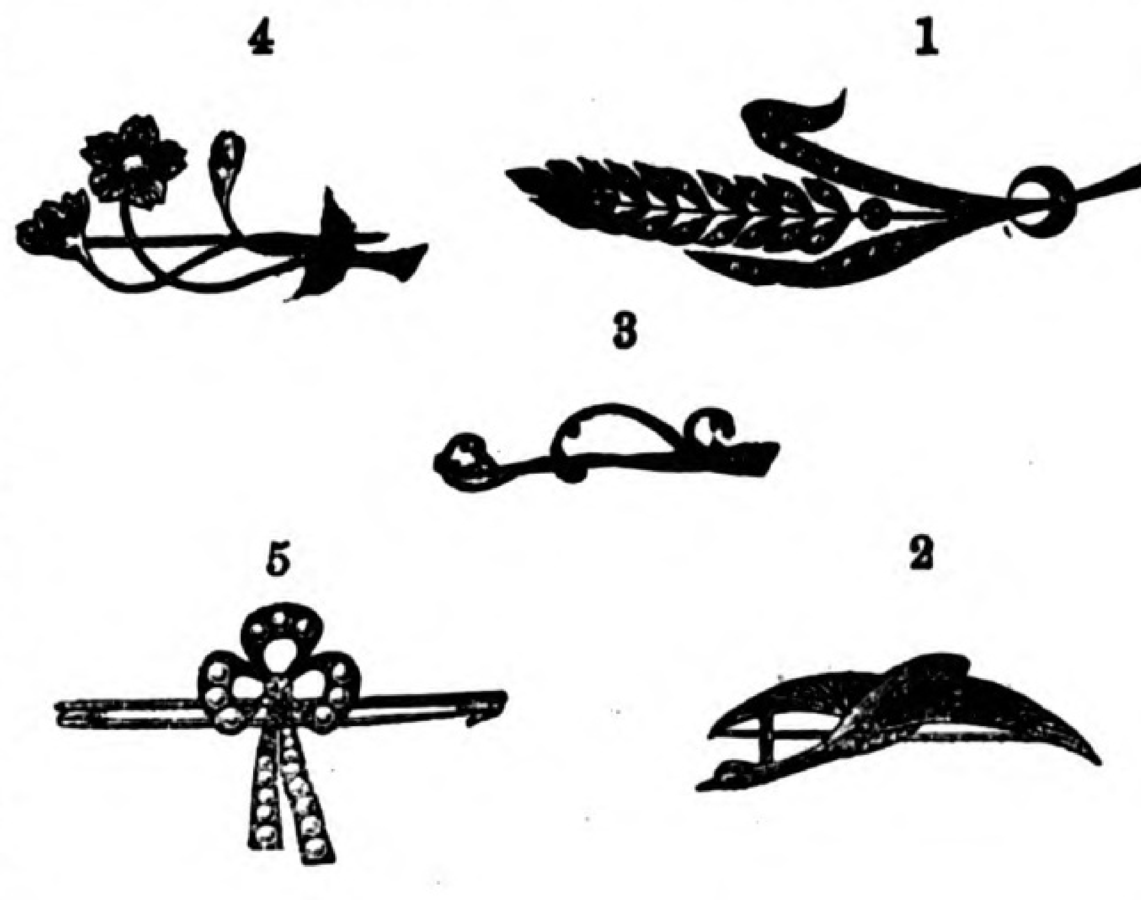
學校の寄宿舍や、下宿屋の臺所の如きは青年男女の素行について著しく關係してゐるのであります。ひとり素行のみならず、生理上、其身體精神の發達に大に關係してゐるのでありますから、此は是非とも大改良を要するのであります。下宿屋の食物や悪い寄宿舍の食物等を食して置いては、決して堪へられるものではないす。べて、粗惡で不消化であるから、それで青年は滿足しない、滿足しないから、肉屋に行く、ビヤホールに入る、遂に進んでよからぬ處に出入するやうになるのであります。

さういふ事の出來ない學生は、我慢してゐる、さうすると營養不良もしくは不足におちいり、神經衰弱にかゝる、すべて斯の如き原因は云ふまでもなく下宿屋もしくは寄宿舍の臺所にあると思ふのであります。心ある當局者、注意ふかき教育家は、大に此點について、大改革の先鞭をつける必要があると信ずる。

さて以上お話したる通り、臺所の改善と云ふ事は、實に刻下の急務であり、また家庭全體の改善であらうと思ふのです。新に家屋建築せむと思ふ人は、どうか此味意によつて建築していただきたいと思ふ。實に此事は、社會の風敎に大關係するところであります。

（をはり）

流行ブローチ



1 拾八金眞珠入金四拾五圓　2 拾八金拾圓より赤銅製壹圓より　3 拾八金わらびの圖九圓より　4 拾八金金拾四圓より　5 拾八金眞珠入金拾貳圓より
●送料內地は拾貳錢臺灣及清韓樺太は各三拾錢申受候
●爲替は日本橋大傳馬町郵便受所宛願上候
右の外御好みに應じ確實を旨とし諸品共廉價調製可仕候間陸續御用命奉希上候

美術貴金屬細工袋物商
東京日本橋人形町通り
澤田治助
長電話浪花二五六九番
振替口座一二三七二番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

愛國美談　貯金壺　　愛妹生

「お母さん、眞實に僕は秋から中學校へ行かれるの？」

十五六の、年よりは少し小柄な、眞面目らしい灰色の眼をした可愛らしい少年が心配そうに問ふた。

此處は獨乙の片田舍、某村の百姓屋の中庭で、少年は井戸の桁に凭れて居る。午後の日影も早や西に傾いて、たそがれ近い。少年は再繰り返へした。

「お母さん、眞實に僕は秋から中學校へ行かれるの？」

問ひかけられた。少年の母と云ふは年の頃四十位の面憔悴のした婦人で此時戸口を離れて微笑とした。カール（少年の名）が中學へ入學したいと云ふのは年頃の希望なので、母も亦カールが村の小學校へ通つてる時から、此の事のみを心配して居た、三人の息子の中で一番幼いカールだけは中學から大學へ進まして立派な偉い人にしたいと其を樂んで居たのである、父はカールの五つの時に逝くなつたが、氣丈な母と二人の兄とは骨身を惜しまず働いて、生計を質素にしたので、父の殘した僅かの田地も善く耕作が出來今では牛や羊や豚等も澤山飼ふてゐる。

「そうだとも、キツト遣つて上げるよ」と答へて、少年の肩に手を置き乍ら、

「もうチャンと用意がして有るんだからね、長い間苦心して御母さんが貯めたお錢が壺に一杯になつたよ」

二人の兄達も心から此の末の弟を大事にして、何うかして中學校へ遣つてやらうと隨分今迄も自分達の遊や慰に錢を使ふ事を約しては、貯金壺へ入れて、壺が追々に重くなるのを樂しみにして居つた。

此の日も兄達が畑から戻つて來るのとカールが駈けて行つて迎へると、

「おい、カーちやん、お前いよ〳〵市へ行くかね、今度戻る時には、百姓の兄さんを忘れちまうだろうな」と一人が、からかへば、一人は、

「カーはキツト怜悧になつて來るよ、然し兄さんを忘れたりしないやね？」と云ふ。

其時表の方で戞戞と馬蹄の響がして、數千の騎兵が此方を指してやつて來た。二十日も前から、墺太利と戰爭が始まるなどと噂は有つたが此の片田舍村では格別騷ぐほどでもなかつた。最先に駈けて來た一騎兵が門前に馬を止めた。

「おい、誰れか居ないか？　此處は誰の家か？」

「フロー、リスベス、グルーニック」兄が答へる。

「そうか、私はモルトケ將軍の使者だが、君等お國の爲めに働くだろうね？」

カールは目を丸くして其騎兵を眺めて居た。騎兵は、モルトケ將軍の仰を受けて、この家の家畜や家禽を徵發するから其の覺悟にしてくれ、と云つた。兄等が其の手筈をした居た間も、カールは其騎兵の側を離れないで立つてると、やがてモルトケ將軍が副官を從へてやつて來た。

カールを見て、

「君は中學校へ行つてるか？」

「イエ、未だです、秋から行く筈ですけど、もう行けないでせう、だつて兵隊さんが僕の家の牛も鷄も悉皆持つてつてしまうんだから。それで未だ足りないで今兄さんが貯金壺のお錢を持つて買いに行つたんですもの」

「軍隊の爲だから惜くはないだろう？」

「エイ、けども隨分長いこと掛つて貯めたんですから……」

「ヨシ、ヨシ、學校へは行けるから心配せんがいい」と云つて、扨副官の一人に向つて

ウオールド中尉、此處で徵發したものの表をつくり凡て代價を書き入れる。それからね」とカールの方を向いて「お前でもお母さんでも戰爭がすんだら伯林へ行つて王樣の御手許へ此の書付を差し出したら、皆んな拂つて下さるから、イイかい？」

カールは默つてた。中學校へ行く希望は、全然水の泡になつてしまつた。あの偉い尊い王樣が自分達の樣な百姓の牛や羊を兵隊が取つたからと願つて出ても、お取り上げに成らぬのは知れて居ると心て思つたからだ。

それでもカールの母は其の書付を叮嚀に疊んで貯金壺の中へ仕舞つた。

一月半ばかり經つた。貯金壺は空て、書付が一枚這入つてるだけだ、其れは副官フォールドのくれた徵發物の受取書である。墺軍はサドワで散々に敗北したので遂う〳〵降參して再び講和になつたとやら。こんな噂が村でとりどりの頃或る日大きな狀袋の手紙がカールの家へ屆いた、開けて見るとモルトケ將軍の命によりて副官フォールト認むとある。

其文言には、

フロー、リスベス、グルーニッグは何故徵發物の代金請求書を國王の許に差出さざるか、今後二週間以内に願出づれば即時支拂を受くべし。

とある。

カールの母は直樣伯林へ行つて請求書を呈出した。村へ歸つて來ると亦貯金壺は一杯になつた。徵發物の代價は奇麗に倍償して貰つたのである。

秋が來た。カールは某中學校へ入學した。（をはり）

圖書俱樂部

◉日本自助論　東京巣鴨上駒込　內外出版協會

諸言に——英國スマイルス氏の『自助論』世界の各國に復刻若しくは飜譯せられて世を益し人を導くこと少からず。予も亦其感化を受けし一人なるが、後一たび彼國に遊びて聊か其國風を觀、其の民俗を察するに及び書中記す所の意氣、精神、美德良風、歷々として現代人民の心に滿ち其言行に現はるゝ有るを認むると共に、其我が國風民俗と頗る相似たるもの少からざるを發見したり（中畧）ス氏の『自助論』ありての英國風民俗ありしかと云ふに、勿論前の國風民俗ありて而て後自助論あり自助論ありて而して後、後の國風民俗は來りしなり。然らば則ち其意氣精神相似たる我邦に於て同じく前人の美德を蒐聚して後人の良風を激化すべき日本自身の『自助論』あるは亦對照の當を得たるものにあらざるか——とある。總篇を分ちて、國民の自助、進取の氣象、堅質の風、立志勤勉、簡易儉素の五篇としてあり、全篇勉めて空言を避けて實事を取るの方針で、文章も亦平易質實に——されば云つて適切の實例により趣味津々として記されてある。流石に面白い。男にも女にも——殊に青年には是非必讀の著述と思ふ。著者井口丑二氏は英國に遊びしことある人なりと云ふが製本用紙その他も立派に質實に出來上つて居る。定價の一圓は至廉と思ふ。我愛讀者に一讀を勸めたい。

◉梁川遺稿書翰集　京橋南小田原町獅子吼書房

露骨に人の心情の吐き出さるゝのは書翰である。世には不用意の時全て人格の違つた人のやうに見える人もある。これ僞の人である。梁川綱島君の眞人であつたことは、梁川君の人物を知れる總ての人の等しく認むる處である。啻に眞人のみならず新人にして神人であるとは親しく君を知れる人の信じて疑はぬ處である。此書翰集は此點に對する生きた證明者である。君が遺著『回光錄』、『寸光錄』等によりて君を知れる人は、此『書翰集』を一讀して愈よ君の人格の偉人なるを認めるであらう。また一度此『書翰集』を手にした人は、かゝる書翰をものせる君が生前の著書を讀むべく、餘儀なくされねばならぬことゝ思ふ。尙又た此書が君の天眞を流露した僞らざる書翰集である以上、君を知らざる多くの姉妹も亦た、これを一讀することに依つて、眞情流露の手紙の如何なるものかを窺ひ得ることとであらう。『哲學そのものには實在無之空氣よりも薄き影のみに候』と喝破した君が眞情、『昔は我の觀念が太陽にして神の觀念が月なりしが今日は一轉して神が太陽我が月となれり』と悟了せし君が眞信、これに依りて多くの人は大に敎へらるゝ處があらうと思ふ。此意味に於て『書翰集』は一種の經典と云はねばならぬ。此意味に於て、吾人は本書を愛讀諸姉に勸めたい。定價は一圓十錢。紙質製本共に善美を盡して居る。

●本齒磨に限り毫も齒根、琺瑯質を損せずして淨白ならしむ
●防腐殺菌の効ありて口臭口熱を去る
●香味の清快なるも天下に其比を見ず

最新の學理に基き植物質を以て主成分とす

オペラはみがき

定價　袋入三錢・箱入八錢・瓶詰十五錢　送料袋入箱入は二錢瓶詰入は錢

特別此際二割引　大割引　愛國婦人會員たることを御記入御注文の方に限り

發賣元　東京日本橋區米澤町一ノ一番地　鳳舞園　電話浪花四〇三九

右支店　東京神田區小川町四番地　月下堂　電話本局一一七七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

譚叢

捕鯨船（五）

端艇が鯨の尾鰭から打たれたと見た其刹那、あはれ端艇は影をも止めず、微塵に打ち破されたのであつた。

が、意外なことに、この不幸なる端艇に乘組める人々は、何の周章た樣子もなく、孰れも平然として立ち泳ぎしつゝ、其半身を海面に現はし、救助の來るのを待つて居るのであつた。

それと並んで勝ち誇れる鯨は、他の二頭の鯨と〻もに依然、泰然として汐の飛沫を四邊に雨と降せつゝあつたのである。咄嗟の間に船長は豫備の端艇に出獵の準備を命じ、命に應じて他の端艇は以前の如く鯨を目懸けて鷲直に漕出された。

この應援の端艇が漸く以前の四隻に近いた頃、端艇の一隻は再び他の鯨に近寄つた。と見るうちに銛は再び獵夫の手から投げられたのである。

投げられた銛は見事命中した。

見る〳〵海潮は血潮と變じ、鯨は高く高く血汐を吹き上ぐるのであつた。

日麗かなる夏の晨、茫漠たる太洋のうち、黒きは鯨、その鯨から丈餘の高さに吹上げらるゝ血汐の、また血汐の雨と降り來る其光景！　實に悽慘至極の光景である、

あゝ無邊際なる太洋の眞唯中に、巨大の鯨が必死の運命を爭へる苦悶の光景を冷かに見下しつゝ、自己が今投げ當てし銛の綱を手繰れる彼の獵手、彼こそ宛然斯土ながらの大惡魔ではあるまいか。

然れども、その何たるを問はず、職業は寔に神聖である。この職業に忠實である以上我が捕鯨員も神聖であると云はねばならぬ。さらばよ、捕鯨船！（をはり）

空前の大辭典

讀書趣味の向上するに從つて益々必要を生ずるものは完全の辭典であります。殊に宇宙の萬象を網羅するに足るほど具備完全した辭典は家庭必須のものとして總ての家に備へて置く必要がある。然るに此必要を充たすべき完全な大辭典を編纂するには幾千の人の手と幾十百萬の費用がなければならぬ。然かもかゝる種類の出版物は決して利益が失費に伴ふものではない。されば之れは國家事業とするより他は致方が無いとして、幾萬の損失を犧牲としてまでも完全無缺なる百科大辭典を發行する勇氣と忠實な心の書店はなかつた。

然るに事苟くも國家に莫大の利益を與ふることならば一個人の損失は辭するに及ばずとの大猛心を振起した三省堂主人は遂に十餘年の歳月と幾百の人手、幾十萬の費用を此事業に犧牲にして、遂に此空前の『日本百科大辭典』を完成し此程其第一卷を出版した。吾人は同店主人の勇氣と愛國の念とに感動すると共に總紙數一千三百頁、木版極彩色三種、石版極彩色九種、彩色精細地圖十六種、コロタイプ十二種、三色版二種、その他精細を極めた挿畫幾千を挿さんだ尨然たる大冊子の我帝國に一私人の手に依りて捧げられ國家に貢獻した眞心を多しとするに吝ならぬものである。

此大辭典の内容を示す爲め特に本誌第二頁に池野大雅の件を引用した。尚ほ今後も時々引用して其實價を示さうと思ふが、兎に角に、婚禮用必要品の一として、ミシンを指折るやうになつた進歩せる世の中に、家庭必須の重寶として多くの家庭に此完全せる、特に東洋、就中我國の事柄に細を極めた、營利以外な殊稱な心がけに依りて出版された『日本百科大辭典』の歡迎せらるゝを疑がはぬ。尚第二卷も近く發行さるを待ちて紹介することにする。

廿二日の目白臺と早稲田

世間の不景氣を知らぬ顔の恐ろしい景氣だ。來る電車も〳〵皆な滿員、自働車が來る、馬車が來る、人力が來る自轉車が來る。揃の袖袂を飜す女學生、フロツクコート、黒紋附、制帽の學生！　これが潮の如く寄せて來るのである。空には各國の國旗、地には幾千の男女。目白臺も早稲田も世の不景氣知らずの光景！

それも其の筈、鋼邊協會學校では廿五周年の祝ひがあつた。女子大學では運動會があつた。それから早稲田の運動場では米國對早稲田の大ベースボール、マツチがあつた。大隈伯爵邸では早稲田中學の校友が午前に、午後からは大隈伯爵を總裁にいたゞいた三省堂の『日本百科大辭典』出版披露の爲めの大園遊會があつたのである。

日本女子大學の秋季運動會は例によりて完全なものであつた。見るもの〻眼を樂ましめるやう巧みに仕組んだものであつた。この點は他の學校の多く企て及ばざるものであり、殊に午前の號武舞踏の如き、午後の白妙の如き、菊の露の如き、强鬪徒手體操の如き、巧妙な獨特なものであつた。加ふるに同校女徒の手に成れる各種中毒倒用辨當、茶菓の類には風味の宜さがあつた。特に當日體育參考室を公開し、有益な陳列を來會者に見せたのは世人を利する方法と敬服した。

ハイカラな女子大學の運動會を見た目には午後から大隈伯邸に開かれた三省堂の『日本百科大辭典』刊行披露宴は純日本式の園遊會と云ふことが出來る。來會者は三千人と註され、世の中に名を知られた學者有力者の凡てが殆んど一庭園内に集められた。

私は三省堂主人龜井君とは親類の間柄である。それ故に此大事業に關係したと云ふ譯ではないが、多少緣故のある爲めに私の名前を掲げて、私が今日の主人として御案内した。……今日文運發達に伴つて種々有益なる書籍の出版は日に月に盛になつて參りましたのにも拘らず此度の百科大辭典の如き完全なる且浩瀚なる出版は日本に於て此出版が初めてゞある。三省堂が殆ど十箇年辛苦經營、數百人の專門學士博士其他有力なる方の力を盡された斯の如き大辭は日本今日の文明の程度として、時勢に必要なりと信ずる。云々の大隈伯が式辭は最も其當を得たものと思ふたので、その他の大家の演舌は愛に除くが當日は此他井上文學博士の演舌、蜂須賀侯爵、渡邊國武子、小松原文部大臣、牧野前文部大臣、辻新次、手島精一その他諸氏の最も同情を寄せた祝辭、肝付男爵の祝歌があり、園遊會についで立食の饗應あり。點火ごろに散會した。

圖書倶樂部

△武士道小説　京橋南鍋町　盛文館

斯う云ふ有益な小説が本誌締切後到着したが、通讀しかれたから次號で評く紹介する。定價は八十錢。

▽日本武士氣質　本郷東片町百十一　新公論社

本編集錄する所德川氏の序事から大切にまで跨り、上は將軍より下は雲助直の卑人に至るまで、而も武士氣質に富みし人々の逸事、奇聞を網羅してある。されば篇中僧侶あり婦人あり商人あり、個りし名流米春夫と竝ぶ、こゝに本編の特色あり面白みありと云ふことが出來やうと思ふ。殊に各項編者たる楓所子の寸評の付けられたのは面白い。且つ寸評に一種の特色がある。斯の如きは史外史傳として、教科書外の倫理書として修養の一助として閑に一讀に値するものと思ふ。定價四十五錢。

▽現代名流自傳　本鄕東片町百十一　新公論社

江原素六、南條文雄、井上哲次郎、海老名彈正、前田慧雲五氏の受けた境遇と感化を一々各家自身に物語られたのを集めた本である。これから世に出やうと云ふ姉妹たち、既に世に出てゝも未だ世智辛い世の徴を深く味はゝぬ姉妹たちは、これ等現代五名流が如何なる時代、如何なる家庭に生れて、如何なる感化を受け、如何なる世路の辛酸を嘗め、かくして如何に成功したかを本書に依つて學り、各自の現在と過去の境遇とに思ひくらぶる處あらば之れ生きた自助傳として偉大なる實益を諸姉に與へることゝ信ずる。現代には出版物が多い。殊に成功を云々する出版物が多い。併しながら生きた成功書類には未だ乏しい。此意味に於て本書は諸姉の座右に必要ものと思ふ。實質の有益な割合に定價も至つて廉で金三十錢である。

▽家庭の研究　日本橋檜正町　服部書店

三輪田女學校教頭三輪田文學士の著述である。本誌大讀に三輪田文學士の高論を讀まるゝ方は是非此の著書を參考の爲め一讀する必要があらうと思ふ。——人生問題は公然の秘密にして恰かも空に懸つて居る月の如きものであります。即ち如何なる階級の人の目にも公然的であるが併し秘密的である。故にこれを解釋する人の心の狀態よりして千差萬別となるのでございます——と云ふ第一章の人生の書き起しから第二章の愛家典の制定、第三章の要◦第四章の家庭と家屋、第五章の少女……家典の制定、經濟思想、舅姑、一家の盛衰、結婚、家庭の趣味以下第十九章の時代思潮、第廿章の眞善美に至るまで家庭の研究には何れも必要な事のみで滿されて居る。——最後の章の最後の結論に——天然美と人情美とは相互に遠接して居ります。故にトルストイの家庭は一面より見れば以てあり一面より見れば善てあり又一面より見れば美てあります。……これを以て以上十九章に述べた種々の智識種々の暗示種々の趣味及種々の理想は悉く眞善美の大精神に從つて統一さるべきものであります。——とある。定價は金七十錢。

冬の收を豊にせんとする者は先づ春は耕し土地を肥すことを怠らず夏は耘り稲の障を除くことを勉め秋に穫れ以て其倉庫を充滿さしむ人の粧も此の順序を忘ること勿れ

春の粧を美くせんとせば今に於て顔の地を艶ならしむる乳白化粧水「レート」を用ひることを忘るゝ勿れ

●レートは到る所の和洋小間物店及び賣藥店に發賣せり
●定價　金十錢●五拾錢
●壹圓
●偽物有發賣元平尾賛平に御注意

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

▽宮中喪仰出さる 清國皇帝並に太皇太后兩陛下崩御に就き天皇皇后兩陛下には去月廿一日より本月十一日まで廿一日間宮中喪仰出され是と同時に高等官有爵有位有勳者參内の節喪服着用可致旨仰出されたりと尚ほ漏れ承はるに皇室喪忌令中にも宮中喪仰出の場合は大抵御規定あらせられ各訂盟國の喪に對する時は曾て其禮の御交換あり國に限り仰出さるゝ定めなるが清國にては我が英照皇太后崩御の際宮中喪なかりしかど日清兩國の關係御親交を思召され特に兩陛下同時の御不幸に痛く御同情を寄せさせられ通常の場合に據らせられずして特に最長期の宮中喪仰出されたる次第なりとは畏き極みにこそ

雜録

▽華頂宮大妃殿下薨去 華頂宮故博經親王妃勳一等郁子殿下には今春以來御病氣にて鎌倉御別邸に御靜養あらせられしが去月十四日薨去あらせられたり御年五十六歲。同月廿一日豐島岡に葬り奉る。最近の御詠と承れるを左に掲げて在りし世の御心を偲ぶ。

　年の始めに河水久澄といふことをおほせごとによりてよめる歌

　世と共に澄み渡るらん神代より流れ絶せぬ宮川の水

▽清國の事變 に就きては本號論叢欄内男爵田健次郎氏の所說にて讀まれしことゝは信ずれど此處に概要を報ぜんに、清國皇帝陛下には、去月十三日突如として崩御の報あり。皇弟醇親王の長子御年僅に五歲なる溥儀殿下を皇太子に册立、十五日喪を發し、新帝踐祚、醇親王攝政に任ぜらるゝ由報ぜらるゝと共に西太后御不豫と傳へられ、十六日を以て西太后崩御の發表あり。更らに皇后毒を仰いで崩ぜらるとの報あり。清國皇室稀代の御不幸、痛心の至りにこそ。附けて云ふ。崩御されし清國光緒皇帝は先々帝の父なる道光帝の孫、先帝同治帝の從兄に當り、清朝十一代の元首として同治十三年（我が明治七年）御年三歲を以て即位。在位三十四年。其間佛國及我國との二大戰爭、團匪の騷亂を主なるものとし內憂外患頗る多かりしが、帝が親政は僅かに九年。他は政權悉く西太后の掌中に在り爲めに有爲の資を抱いて百年意の如くならず。世界中に於ける最も不幸なる皇帝と稱せられて、憂鬱憔悴たる生涯を送らせられ、御年僅かに三十七にして崩ぜられしは悼しき極みと云ふべし。

▽花嫁花婿九百組 日比谷大神宮にて始めて神前婚姻式を執行せしは、去明治三十四年一月廿一日を以て原亮三郎氏の媒約にて、渡邊金吉と觀世フユ子との結婚式に始り、爾來明治四十一年三月に至る迄八百六十五回に達し、一ケ月平均三十五回の勘定なりと、又毎年十一月より翌春二月頃までは、婚約の季節にて一ケ月六十回以上にも及ぶことありとぞ。

▽婦人間昨今の流行 農商務省意匠課の最近調査に依れば、昨今婦人間に流行の意匠は次の如し。

△綿ネル　の需要は一般に多く、この方面に向つて意匠を注ぐもの多くなりたるは近頃の新現象なり、これは捺染模樣と云ひて、友禪に似たる形付の染模樣にて精巧を極めたるもの多し

△メリヤス類　近時の流行としては種々の編出し模樣あり、又色綿にてかゞりたるものあり、多くは小兒用のシヤツ、ズボン下に用ひらる、要するに各種の意匠は精巧に進むと共に、勢ひ華美に流るゝ傾向あり

△蝙蝠傘、布地　の如き以前は唯無趣味なる線を施したるのみなりし或は綸子綾の如き簡單に織出し友禪染刺繡等あり又所謂寫生風の半襟模樣の流行に連れてか、自然の儘の花卉鳥虫の模樣をコロタイプの寫眞版に顯はしたるもの、又レース編に模したる染出模樣等もありと。

社告

來む明治四十二年宮中御歌始會の御題は

雪中松

と仰出されたるに就き、本誌愛讀諸姉に限り特に當發行所にて取纏め囑託選者の撰選を得　宮中へ差出可申に付御希望の方は料紙（半紙）へ住處姓名族籍等を明記の上十二月十五日限出詠相成たし。

▽婦人界 大日本婦人教育會　去る廿六日午後一時より毛利公爵邸に於て總會を開催總裁　閑院宮妃殿下御台臨あらせられしと▲女子大學　別項廿二の目白臺と早稻田記事中に記せる如く去る廿二日午前八時より同大學運動場にて秋季運動會開催非常の盛況、同日は同校生徒考案に成れる體育參考室をも一般に縱覽せしめたりと▲女子學院　去る廿一日午前九時より麴町上三番町なる同院にて牛込教會主催のバザー開催中々に人氣よく同日來會者約八百賣上高五百圓に近かりしと

▽雜誌界 サンデー　と云ふ形のパックに似た氣の利いた週刊雜誌が太平洋通信社から出た。小氣味の好い面白い雜誌だ▲少年　時事新報社から發行され少年新雜誌中の一番美しい雜誌と世間から許されて居る「少年」の編輯者は今度安倍村羊君にかはり、めつきり面目を改めた▲婦人くらぶ　と云ふ體裁の好い婦人雜誌が新たに仲入りをして來た。婦人雜誌中で用紙が一番好く體裁が好いと思ふ▲其他　の雜誌は追々

▽國民百科辭典 の十倍は小さき外形に大なる内容を包む、眞價は絶大にして實價は二圓八十錢の廉價進歩せる編纂法、精巧艷麗の圖畫は卷中に賑し、索引は自在、携帶に至便、敎員學生實業家何人にも可適にありと云ふ重寶至極な小形百科辭典が近く富山房から發行さるゝさうである。富山房は嚮きに有益なる家庭百科辭典を出し、今また家庭の女王たる方々に取り分け有益な此百科辭典を出すと云ふのは實に讀書界に忠實な致方と云ふの他はない。聞く處に依れば出版前から前景氣が盛んであるとのことである。かゝる有益なる書籍の歡迎さるゝは我國家庭の進歩として喜ばざるを得ぬ。近く同書の世に出て、われ等の手にして後に於て詳く其特色を紹介しやうと思ふ。

シモンクレーム

Crème Simon

川上貞奴孃十數年來常用の美顏化粧料（佛國巴里シモン會社製）

「シモン、クレーム」は何故に斯く長くマダム貞奴孃に此クレーム並に**粉白粉**（ライスパウダー）黄色、肉色、白色の化粧料朱鷺色等を日常愛用せられつゝあるか……それは「シモン、クレーム」は一種の强壯劑と皮膚を柔かくする藥劑及化學上數種の**美顏料**劑とを配合して數十年來の實驗と綴密なる注意監督の下に精製せられたる美顏上衛生上世界無比の良品てあるからてあります

「シモン、クレーム」は皮膚を白くし且つ滑かにして表面がすべ〳〵となり又天鵞絨の如く艶麗ならしめ快よき香氣を發しますから毎日お化粧の時に御使用になれば何時迄もつや〳〵しき容貌を保たれます

「シモン、クレーム」はヒビ、アレ、日ニヤケ汗モ、ニキビ、唇のワレ、霜ヤケ又髯剃の後やお小供衆に塗抹ますとすべ〳〵として大變氣持ちがよく又美しくなります

東京大阪三越呉服店は本品を世界最上化粧料として今や盛んに推擧しつゝあり

各地洋品店、化粧品店にあります

日本代理店　横濱七十番　エー、ハイム商會

關西特約一手販賣　大阪市安土町四丁目　河井商店化粧品部

登錄商標

「シモン、クレーム」「粉白粉」「石鹼」共特ニ登錄商標を御確めの上御購求を願ひます……

圖書倶樂部

◎女殿下 神田雉子町卅二　玄黃社

原著者はマクスオーレル。名高い面白い本である。德富蘆花君の跋に――玄黃社主鶴田久作君が甲州葡萄一籠と「女殿下」を持て來て此再版に序なり跋なり書いて呉れとのことだ。兎も角も一讀して見た。誠に面白かつた。處で何か書かなければならぬが、書きたい程の事は大抵マックスオーレル君が言つてしまつて居る書くまいとすれば、生憎甲州葡萄はとくに食つて了つた。……此「殿下」にも「果樹の目的は實を結ぶにあると同じ女性の目的は母となるにある」と云ふ意味が言つてあるが……甘やかす者は好い母ては無い。妬まぬ者は母て無い。怒らぬ者は母て無い。利害に惑ふ者は母て無い。犧牲をなし得ぬ者は眞の母ては無い。――とある。これて如何なる有益な本かゞ解るてあらう。有益てあるから初版に既に賣切れて蘆花君の跋を新たに添へて此再版が出た。恐らく再版も間もなく賣り切れることてあらう。否左樣なければならぬ。譯者は藤井紫一氏。定價の金七十錢は廉てある。

◎婦人の本分（生理上より見たる）大倉書店

生理學の泰斗東京帝國大學敎授大澤醫學博士の著はされたものてある。博士の自叙に――元來男子は男子に比較すべく女子は女子に比較すべきものにて、體質の異れる男子と女子とは直接に比較し得べきものにあらず――とある。さらば生理上より見たる婦人の本分は如何と云ふに即ち此オーソリテーとすべき此著書がある。此著動物の雌雄牝牡、人類男性女性の別、生殖物質は性質の基礎等の顯章に起り、世界に於ける學說上の婦人、貞操は婦人の覆的生命と云ふに終つて居る。有益な本てある。定價は金五十五錢。日本橋通一丁目十九番地大倉書店の發行。大和綴の上品な體裁の好いのは進物用にも適せやう。

△本號所載當代百畫選の說明▽

本號第一面に當代百畫選の一として『大雅夫婦』を揭げたるが、大雅とは如何なる人なるかを知らざる諸姉もあるべしと信ずるを以て、最近三省堂より發行の『日本百科大辭典』によりて大雅の何人なるかを述ぶれば――池野大雅は南畫派の名家。京都の人、名は無名、字は貨成、大雅は其號なり。世に大雅堂と云ふ、其他霞樵、九霞山樵、竹居、鶏濟、釣叟等の號あり。初め清人伊孚九の山水を愛し、其畫風を學び、且柳澤里恭、祇園南海等に從ひ、自ら一風をなす。好んで名山大川に遊び、自然に得るところ多かりき。曾て富士山白山立山の三山に遊び、三岳道人と稱せり。其畫風雄健磊落俗塵を脫す。安永五年四月十三日歿す。歲五十四。

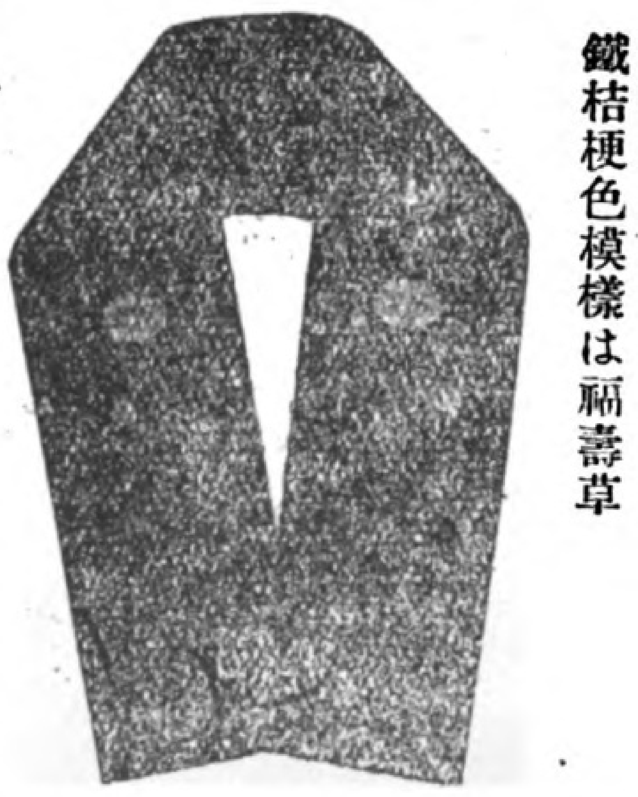
勅題模樣御半ゑり

新年色は御納戸鼠、藍葡萄さび鼠、其外色合模樣共各種　直段は六十錢より三圓位

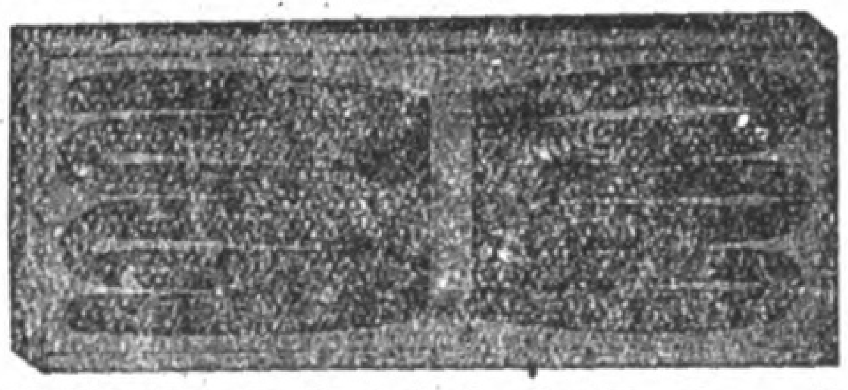
勅題模樣

鐵桔梗色模樣は福壽草

新年模樣



流行の光琳じめ



上圖は最新案で其の拵へに工風を凝らした物でまことに意氣で御人柄向き御締めになると恰かも平ぐけの如く御令孃より御年より方にも評判よく年末年始の御進物によろしく色々出來致し居候

縮緬地薄綿入縫模樣　種々　直段は七十五錢

東京市日本橋區堺町通ふきや町

ゑり善

電話浪花千二百七十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌

落葉　大口鯛二選評

甲

はたまむく木の間もりくる月影はなか〳〵みえてちる紅葉かな　東京　三宅久子

評曰、紅葉の色まてみゆる月の光身にしみてなん

乙

窓の内に風のおくれる一ひらはとなりの庭の紅葉なるらん　山口　末田竹子

評曰、隣どちへだてぬ心の色もみえていとをかし

丙

よむふみのうへに散りきて美しき栞となりぬ庭の紅葉　石川　山本あつ子

評曰、いひふりたれどなつかし栞にこそ

丁（十首）

一本の柿のおち葉に山里の垣根は道もわかれさりけり　山口・末田貞節子

ひまもなく散れる紅葉に霜おきて今朝美しき庭の面かな　越後　阿部秀子

かきよせしかひもあらしの吹たてゝいてふのおち葉空にまふなり　伊勢　日野千鶴子

山かつか眞柴おひつゝくだりくる小笠の上にちる紅葉かな　長崎　本田瀬須子

はら〳〵と紅葉ちるなりはゝきめもいと清らなるひろきそのふに　堺市　金田つるえ

折々は實もましりつゝ我庭の銀杏の木の葉ちりみたれけり　長門　萬田眞子

さと川の水は落葉に埋れて釣する人も來ずなりにけり　金澤　森　まさを

はきよせし落葉ながめて守男あらしを恨む今のあさかな　岡山　清水梅子

心地よくねむれる縁のから猫の夢おどろかし散る木の葉かな　青森　田島正子

秋くれて瀬の音澄みぬ河添の並木の紅葉風にちりつゝ　京都　加藤くれなゐ

戊

時雨かと見れど椿に月さえてまとの戸うつは落葉なりけり　京都　津田きみ

昨日けふ秋のかたみとめてぬるをあはれ時雨にちる紅葉かな　豐橋　平松いと子

淋しさに窓の戸押せば紅葉のまほろしに散る行く秋の夕　東京　篠原智惠子

花とうたひ錦とめてし紅葉もいまはあくたとなりにけるかな　岐阜　小島駒子

夕庭のもみち三つ四つこほれきてなしめる池の水にうかへり　東京　飯塚きよ子

はらはらと落葉せはしき野のくれにさびしく立てる石の御ほとけ　越後　歌川みちの

紅葉ちるさまを見いりしをさなごのきよき心になに描きけむ　岡山　西村晃子

このあさけまださいとはてわかうとの落葉かきふみ棄しはたかきみ　大阪　十合貫鶴子

山里の木々の梢もいろあせて落葉みにしむこからしの音　三重　荘司種子

朝詣うつ柏手のひゞきに一ま坂のもみち散るかゝそ風ふ　豐橋　木原貞子

箒目の立つそのあとへ心なくまたもはら〳〵木の葉散るなり　東京　土師利根子

虫の音におりたちかれし庭の面をまたも落葉にふみそかれたる　静岡　高橋かれ

よの中はかくこそありけり秋はてゝ落る木の葉さへみる人もなし　横濱　鈴木まつ子

人とはぬ山里なれば木々の葉の埋むまゝなる庵のかよひ路　臺灣　浮洲鶴子

時雨ふる外山風の夕まぐれ軒端しつかに紅葉こほるゝ　東京　林　きく

くれなゐに秋をかさりしもみち葉をけふ吹きおとすこからしの風　三河　豐江とよ子

亂れ散る木の葉は何の私語ぞ雨は斜めにわが窓を打つ　京都　湯淺ふみ子

散りしける落葉の上に霜おきて庭の面もなかめ妙なり　函館　安藤武子

ねやの戸を夜中の落葉にたゝかれてひとりある身はねむられもせす　鹿兒島　松村壽賀子

昔人のあかぬ眺めのもみちはもいつしか散りて色なかりけり　神奈川　足立原とく子

吹きすさふ嵐もあかく見ゆるかな入日さびしき峰のもみち葉　三重　西山ひさえ

淋しさを思ふ折しもいりあいのかねにつれてもちる紅葉かな　三河　木俣六女

黄なる蝶あかき蝶あまた舞ひ降るさまして散りぬ山の枯葉は　岩代　長谷よしの

霜の朝小園の紅葉ひらひらと胡蝶の風に吹かるゝがごと　青森　竹林秋子

落葉かく少女か袖にふりかゝる落葉はらひて落葉かくなり　大分　桂木清閑

△△△選外佳作■小田ゆかり■へ木清子■全田久子■安藤文子■齋田とめ子■山崎蕙子■山内鉢子■以上は佳作なれど誌面の都合にて又△大阪きくえ△市川みとり△淺草こま子△山田せん△馬淵けい子の諸氏は住所姓名を明記せられざるにより、何れも遺憾乍ら沒書とせり。

雜報

□オペラ齒磨　日本橋區米澤町一ノ一鳳鳴園より發賣の齒磨にして其主成分は植物質なるを特色とする由。

□輕便鋸引器　牛込辨天町一四三大矢商店の新案にして鳥口とペンに兼用せられて至極經濟の由價入錢十錢

□コロップ作製品　日本橋若松町十五いせだゐ商店の發賣にかゝる年始年末の贈答品に適すと云ふ。

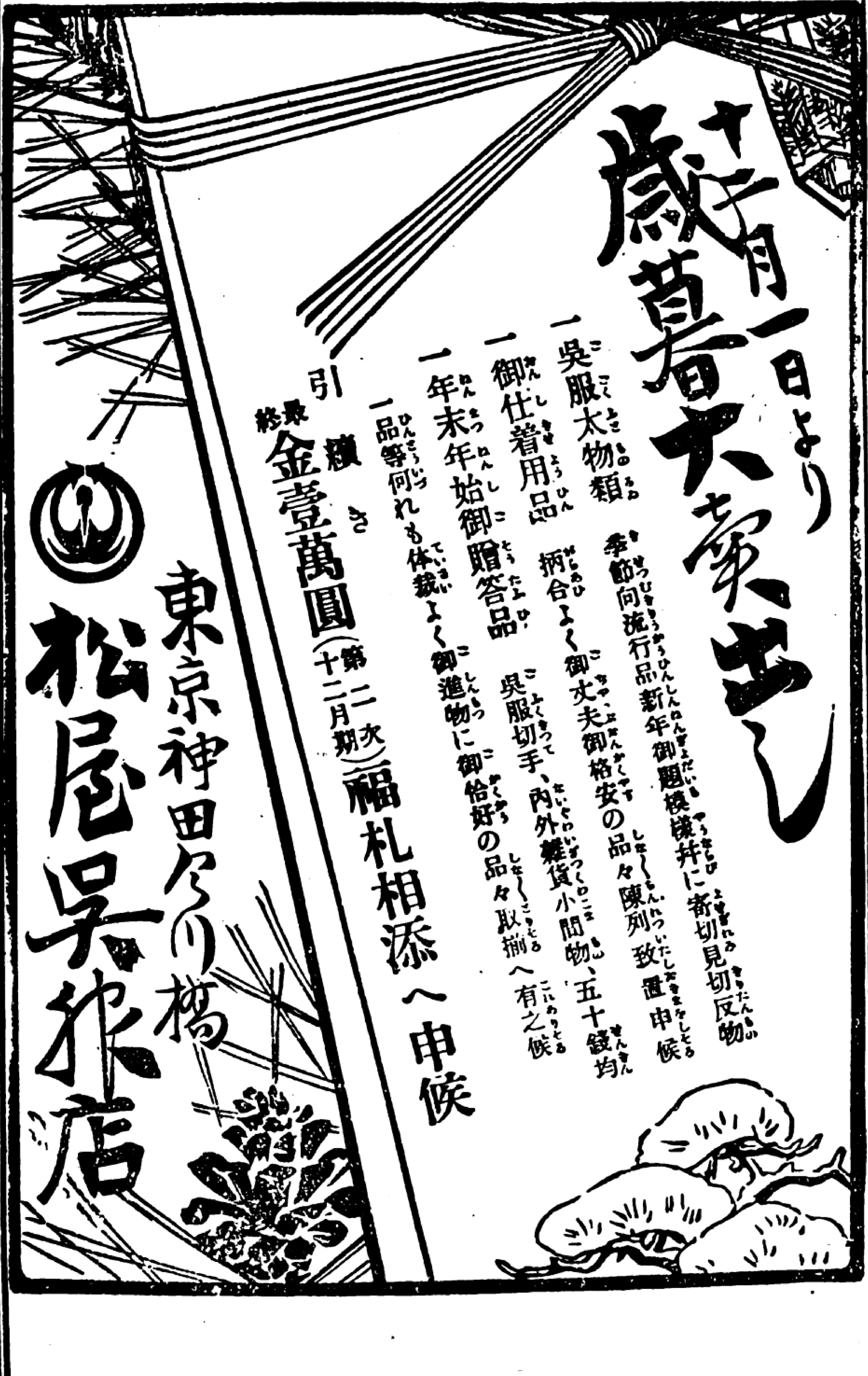
□帝國博品館　上野廣小路の全館は去月二十八日開業す。

マッサージ鍼治　午後治療の需に應ず
東京盲啞學校鍼按科教員
小石川區原町一三三　植物園裏通り
奥村三策

東京化粧研究會編纂（新刊）
化粧のをしへ
正價金六拾錢　郵稅金八錢
本書は衛生上修容上化粧の智識と方法を懇切に説明したるものにして家庭上化粧の教科書とすべき好著蓋し淑女諸姉の座右に缺くべからざるものなり
發賣所　東京日本橋區數寄屋町　六合館　振替口座一二三七一番

販賣廣告
製作品目錄
○木綿足袋、紺キャラコ足袋、紺瓦斯足袋、純白絹天足袋其他各種、小兒胸掛（エップル）西洋前掛、シャツ類
○本品は軍人遺族及癈兵家族の製作せしものにして、精選の品質を用ひ裁縫を吟味し、廉價に販賣致候間慈善同情の各位多少に拘らず御求あらんことを乞ふ
○御一報次第定價表御送付可仕候
○十足以上の御注文は市内に限り送料を申受けず
東京麹町區九段坂下牛ヶ淵　愛國婦人會　東京支部授產場販賣部　振替口座一五一〇四番　電話番町一五二〇、一七四五番

年末年始御進物用
あぶら油　本舗　口　井善
壜詰種々



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

內藤鳴雪選評

天

奈良に來て物めづらしき小春哉　　神田　鶴岡とく子

評、古を温ねて新きを知る

地

藥師の松に吹かるゝ野分かな　　東京　小田ゆかり

評、簡も亦羽化の仙

人

菊人形ころも古びて秋のゆく　　三重　西山ひさゑ

評、榮枯轉變

秀逸

行秋やあつめし蝶の形手本　　三重　西山きよし
山の町馬蹴と霜の匂ひかな　　青森　竹林秋子
川尻に網舟つとふ小春かな　　長門　蔦田眞子
山寺に和尚一人の月見かな　　備後　妹尾常子
床の間や孔子の軸に菊の花　　東京　中山由子
見返れば蔦の紅葉や天主閣　　東京　武田つる
僧一人枯野を過ぎて暮にけり　　東京　芳賀りゑ
月の野を走る狐の白きかな　　仝　　仝　　人
豆菊に犬の子眠る垣根かな　　岩代　長谷川よしの
つれなさの人の心や秋の雲　　岡山　石川みよ子
行秋やさけし芭蕉に風の音　　福井　飛田わさ
頭巾して落葉はくなり寺男　　岡山　西村長子
落葉かく別莊守は女にて　　靜岡　齋田留子
野に出てゝ虫の音を聞く小春哉　　長門　蔦田眞子
稚子二人銀杏の下に遊びけり　　大分　桂木文子
初霜や末摘花の鼻の先　　山口　末田竹子
初霜や水に鳴りこむ鐘の音　　備後　世應龜子
鵙引く空や鶍の低う飛ぶ　　三重　西山數子
背の子に折りてあたふる野菊哉　　岡山　清水梅子

懸賞文苑　課題

□和歌　新年雜詠　大口鯛二選評
□俳句　冬季雜題　內藤鳴雪選評
□新體詩　題隨意　編輯局仝人選評
□作文　題隨意　編輯局仝人選評

締切十二月十日　發表來年一月一日の事
用紙は菊版又は菊版大の紙に一定したし。
住所姓名を明記せざるものは沒書とす

短文

一等

罪な事　　廣島　金原なを子

稻はよく熟したり、雀の群がるに父上（子作り給ふ道旁に附けたれは行く人の皆おかしがりて、引きては笑ひ乍ら過ぐ、或夜われの通る事ありて、何心なく引けば何處にか潜みし蓑被りの男のあはたゞしう逃げ去りぬ、あな罪の事してけるよ。

評、長閑なる田舍の光景寫し出されて佳し。

二等

佐賀　小林龜子

實に淋しい夜のある、かう思ひ乍ち線香を立てゝ、白木の位牌の前なる御寫眞をながめて居ると、香の烟がなびきて行く方に、兄のみ靈がおはすのではないかと思はれてなつかしい、外には軒うつしぐれの音わびしくはら〳〵と木の葉のちる音も悲しい樣にきこえる實に淋しい夜である。

評、「香の烟の行く方に」の邊、そゞろに讀者の襟を正さしむ。

三等

三河　山內經子

いとすゝき

櫻さく頃山あそびの歸さ、とりて植置きし山蘭の餘りに葉細う花もひらかざれは、いかにせしことゝかこち居しに、そは糸すゝきなりしぞおかしき、昨日今日やうやうに美しき光ある穗のぬけいでゝ、幾の筋の葉の上に夜毎置く露のうるはしさ、ゆかり深き紫べに燃ゆる花の色々は、たぐうべくもあらねど優しき姿にこそ。

評、山蘭と糸薄のまちがひは面白し。

秀逸

月と霜と　　東京　小田ゆかり

妾を妹のやうに愛して下さる、さよ子樣の此節のおやつれやう、今日も「私もお婆さんになるわれ來年二十三になるのよ、來年二十三になるのよ」といはれた本當にお可愛想でならない。靈ばかり凱旋せられた背の君から滿洲の月と霜とを踏んで、獨體操をした後書といふお手紙が二人宛て屆いた、あの晩も今夜のやうに月が冱えて霜が白かつた、犯えず滴る涙の露あゝさよ子樣のお心は……十七日の月は傾いた。

評、才筆と云ふべし。

霧の朝　　美作　八木清子

しんみりとした朝の氣が此上なき心地に感ぜられて、嬉しい、或朝只一人散歩がてらに野邊をさまよへば、身のほとりが只まるく見るばかり、稻の穗は黃金の浪の如くこゝかしこの蜘蛛の巢は、銀のハンモツクのやうだ。何處でかベルが鳴つたと思ふまに自轉車が走つた、後にはまなびやへ通ふ少女の、愛らしい唱歌の聲のみがきこえた。

評、題は「秋の朝」とするを可とす。

城跡　　東京　佐野くに子

綠に包まれたる月影、爽く落を照して更けしきる夜な釉みだれたる尾花が上に、桐の葉の音もせで落ち直りたるなど、秋のあはれは茲に止まらむと思ふに、その あたり草叢にすだく鈴虫も十万石の名殘り、かこつかと見えて、城跡の光景いと物凄し。

評、多情多恨、

選外佳作、思ひ出　西村長子■お給仕　石川みよ子■平和　齋田とめ子■清子の君へ　清水梅子■寫眞にそへて　山德秀子■以上は凡て佳什なれど誌面の都合上掲載を見合する事とせり、應募者の諒察を切望す。

おつきあひ

誠之

この好めるもの、草はつくばれ、花は紫陽花、樹は青桐、老杉のめをと相抱きたるが、梢を白雲に捲かれたるも神々し、野は夕陳みし晩秋の武藏野、國は常陸、歌は長明、文は左傳、源語も佳。雨は初夏、菖蒲咲く日に降りたるがいとめでたし。

▼好めるもの五種▲

右の題にて五行以内の小品文を募集す締切は十二月極日、發表は一月二十日好める者の中には、愛するもの、慕ふもの、等廣く含めて可なり。

うりだし　ふくびき　きんいつ

十一月一日より十二月廿日まで

福引券は御買上又は御注文金高五圓毎に一枚宛を呈す五圓以下は一圓毎に福引券引換札一枚又は紀念福袋一個宛を呈す、尤も引換札五枚御纏の方へは福引券一枚と御引換可申上候（商品切手御買上の方も同樣福引券差上申候

均一の商品は何れも破格の勉强にて二圓、五圓、十圓にて御望みの最新流行指環、時計、帶留櫛、笄、袋物、寶石入半襟、其他貴金屬美術工藝品等日々差加へ陳列仕居候

景品金額壹萬圓

宮內省御用達　貴金屬、寶石、美術工藝品袋物類一式

東京下谷池の端仲町

玉寶堂

電話下谷三三三番九六五番
振替貯金口座一〇七四九番

餘興

寶石入半襟陳列會　弊堂新築樓上に陳列しある一號より百號に至る百掛のダイヤモンド其他各種寶石入半襟中第何號が最も御婦人方の御好みに適するや御一覽の上御投票を願ひます（地方御注文の方は御想像にて御投票差支なし）

福引景品

一等二千五百圓（百圓宛、廿五本
二等千五百圓五十圓宛三十本
三等千圓（廿圓宛）五十本
四等千圓（十圓宛）百本
五等千圓（五圓宛）二百本
六等千圓（一圓宛）千本
七等二千圓五十錢宛四千本
（景品は總て弊店商品切手）

七等以下の方へは福引券一枚に付福袋一個呈上仕候

●一回の注射

て鼻の低きものは高くなりますそして身體に害はありません又乳房の無きもの睪丸のなきもの骨の凹み等はお望により手術します

神田今川小路二ノ十一（九段坂下御掛敎會裏通
大學醫院辭職耳鼻專門醫　和田昌訓

富貴煖爐

特許

特長　嶄新螺旋式にて煖爐の普及を圓滿にす

燃料　木炭コークス兩用にて普通煖爐の半量にて足る

●目錄進呈

和洋兩室用　木炭・石炭・石油　各種煖爐

發賣元　淺草茅町淺草橋際　下谷一九二三

阿部彥四郎商店

コロップで出來た手ざわり頗る快

紳士淑女方の御もち物

年末年始御進物に適す

コルク製入烟草
コルク製入名刺
コルク製入銀貨
コルク製入紙幣
コルク製婦人用蓑入

目下流行の中心を米

各地大呉服店　袋物店　洋品店　小間物店にあり

製造元　東京　イセダ井

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新体詩

一等　香川　瀬高やす子

隙洩る光あかきに
胸ときめきて
足音せわしう繰りし板戸
ゆすれ込む夜の香や
月そゝぐ
「朝」を思ひて雨はゆみ
立てゝ姿を妬たしとか
弓ひく如き霜月の風。

評、女性ならでは歌へざる細思、吾人の應募者に求むるは、此の如き女性的詩歌を寄られん事を望むにあり。此篇吾人の意に充つ、「朝を思ひて」の過機微にせまりて餘韻嫋々たり

晩秋

晩秋の大野のゆふべ
伏目にさしぐみし日はみまかりぬ。
ちぎれ雲みんなみに飛び紅葉みだれて
鐘樓守堂をのぼれば、白き鳩ぞ群れたつ。
斯かる時、高殿に御簾をおろす
あえかの人のたわゝ髪、ほのにゆらぎて
櫛ぞ落ちける戀しきさまに。

評、餘韻嫋々。

秀逸

里少女　東京　佐野くに子

くれなゐの裾ふみわけて
日もすがらみやまをたどる
里少女草かご負ひて
下り行くうしろ姿は
影ほのに霧にかくれぬ。
鄙うたおかしふし〳〵も
流れにひゞく清水かげ
背負ふ落葉に月のせて
手折るもみぢは家づとか
愛しき、ゆかしき里少女。

評、いつもより少し見劣りすれど、猶やさしき作者の旅の俤あらはれて佳し。

懐郷　熊本　峡　芳子

猶なく聲もきこえて
冬枯のさびしきゆふべ
影あわく七の星の
輝ける空をあふげば
十四ヵ里山のかなたの
あなこひし故郷の母。

、評北斗七星と書きて、七つの星など假名振る中は面白からず、其他成るべく平易にものするやうつとめ給へ。

○　東京　小田ゆかり

椎はらはらと音たてゝ
破れ茶屋雨にぬれそぼつ、
軒にかゝれる栗の葉の
誰くる〳〵と暮に待つらむ。

評、器用なれど內容貧弱の譏を免れず。

秋の夕　岡山　清水梅子

香簟の窓に身をよせて
かすかに細き尺八の
秋をれびてやなく虫の
一人思ひにしづむとき
音もきこえてふる雨に
聲あはれなり此の夕。

雪　岡山　石川みよ子

都を落ちて三日たちぬ
あれかの丘に耶蘇等
紫綬の冠わけ欲りず、
一夜を雪に憩はめと
行方はいづこ白雪の
白き馬曳き登れども
今はつかれぬあなやみぬ。
四人ながらに蹲くまる。

冬の圖　吳市　山鶴秀子

天に花なく地に葉なく
雪姫笑みて小腰まけば
まこと我世は靜けきと
ただましろなり冬の圖。

腦病　精神病　神經病

東京府下○龜戸町かめゐど停車場ヨリ約十丁

加命堂腦病院

電話浪花二五五二

院長　奈良林淺次郎

小兒科專門

腺病質（瘰癧症）
小兒胃腸障害（脾疳）
腹膜炎（脹滿）
小兒皮膚病

ドクトル
メヂチーネ　長井岩雄

東京日本橋數寄屋町（吳服橋外）電本百八十

院長　醫學博士　榊　順次郎　婦人科　產科　毎日午前診察

副　醫學士　久保德太郎　婦人科的外科　外國留學中

副　醫學士　田代謹二　婦人生殖器病　泌尿器病及内科　一般火木土午後診察

●施診火木土午後一時至二時

婦人科產科榊病院

麴町三番町三三（電話番町三九五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目方ウリ大俵炭
かます入
堅土釜切炭
神田三崎川岸
戸塚商店
電本參貳〇八番

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電本八八八（病院用）八九八（私宅用）
東京神田區駿河臺鈴木町二（御茶水橋畔）
東洋内科醫院
院長醫學士高田畊安

南湖院
神奈川縣高座郡茅ヶ崎町濱（停車場所在）
河野副長は目下當院に在勤院長診察土曜日午後〇同時窮者施診副長診察月、火、水、木、金、土、午前

内科専門
杏雲堂醫院
神田區駿河臺
電本一六六九
院長醫學博士佐々木政吉

東京市日本橋區通一丁目
合名會社森村銀行
電話（特）本局六七三番
電話本局四九八番
定期預金　六ヶ月以上年六分五厘
當座預金　百圓に付日歩一錢
小口當座預金　同日歩壹錢參厘

REINIGUNG
清房（可談）
腦病◎心臟病◎子宮病
内務省衛生試驗所試驗濟
男爵岩佐純先生有効保證
血行障害ニ基ク諸病ニ特効アル新薬
上六醫院長余語盛賈先生發見調製
注意書入用ノ方ハ郵券貳錢ヲ要ス
東京麴町區上六番町上六醫院
（電話番町五〇壹番）
（清房丁幾）製薬部

新刊
武士道小説
後藤又兵衛
本朝暗黒時代の怪傑が壯絶快絶の電光的行動の裡、血あり涙ある武士道の物語は、著者緑園生が獨特の想筆を以て縷述せられたり。
定價金八拾錢郵税金八錢
京橋區南鍋町二丁目三番地
隆文館

編修總裁大隈伯爵 ✦ 貳百三十餘大家分擔執筆

日本百科大辭典

☞三萬部限特價發賣☜

部數滿つれば直ちに正價に復す

▲正價金六拾五圓
△第一卷より第六卷まで各金拾圓
△第七卷（索引）……金五圓

▲特價金四拾五圓
△第一卷より第六卷まで各金七圓
△第七卷（索引）……金參圓

▲第壹卷金七圓
御申込の際御送金の事

▲送本順　替金

▲送料
毎卷市内無料、市外書留小包料金四十八錢、清・韓・臺灣・樺太金六十錢

▲出來期
第一卷既成、第二卷四十二年二月第三卷同五月第四卷同七月第五卷同九月、第六・七兩卷同十二月

見本

小冊子御入用の向は郵券四錢御送次第進呈す

大冊子御入用の向は製本實費金五拾錢御送りあれ

▲萬民必須の書▼

日本百科大辭典は邦文百科辭書中最善最良なるものにして現代要求の知識は精しく收めて此裡にあり、官衙・學校・圖書館・銀行・會社・旅館・集會所・倶樂部・圖書室等苟くも多數人士の集合する處は勿論あらゆる社會の階級及家庭には必須不可缺の貴重書たり。卽ち本書を備ふるは萬金を拂つて寳器珍什を求むるよりも遙に有益にして國民知識の向上發展に裨益する事あるや疑なき也。

▲空前の大特價▼

本書は二十四行二十四字詰原稿紙五萬枚を要す、紙數よりいへば普通の書として百圓以上に價すべし、本書一部門に就ての成書は優に二三圓を要す、三百部門を有する本書は六七百圓を下らざるべし。本書の特價四十五圓は極めて低廉なり。

▲全部七卷（索引共）
▲四六二倍判　縱八寸九分　横六寸五分
▲項　目……約十萬
▲紙　數……八千餘頁
▲組入挿畫……約三萬個
▲彩色挿畫及地圖……約四百枚
▲裝　釘……總革天金箔附

▲何の疑かあらん▼

本書の如き大出版は個人的事業と謂はんよりは寧ろ國家的大事業の性質を有す、多數學者の知識能力を要し、巨額の資を投じ尚且九ヶ年の長歳月を經たり、困難並び臻り煩勞荐りに加はる、之を遂行大成するは極めて難事たるを以て勢ひ豫約方法によらざるを得ず、而かも此法たるや近時漸く放漫に流れ、機を逸し時を違ふるの傾ありて大に世上の不信を招きたるも、獨我が三省堂は敢て此至便なる方法を採らず、至難を冒して一に購買者諸君の便利と安全とを圖り一卷毎に既成を待つて發賣するの方法に出でたり、今や諸君は只僅かに七圓を投すれば眞に萬有知識の寳藏たる本書第一卷を手にするを得べき也。

▲絶好の機會▼

機に敏なるは現代社會の理想なり、事に捷なるは活動國民の理性なり、今や無盡藏の知識の大寳庫は諸君の面前に提出せらる、諸君は先んじて此好機會の鍵を捉へ此の大寳庫を開きて以て思ふ儘に必要の知識を領有せられよ、一日後るれば一日後れたる人となることを知らば一刻も早きを賢しとすべし。

▲見本を要求せよ▼

其の聲を聞て直ちに之を信するは早計なり、須らく見本を要求して其内容實體を質し然る後購買するを安全とす、我が三省堂は諸君の信憑に備へんが爲に大小二種の見本を作製して其要求の至らんことを待てり、小冊子既に能く其内容を證明して遺憾あるなし、若夫れ大冊子に至りては紙數八十餘頁、體裁善美を極め宛然一の好著也。

發兌元　東京神田　三省堂書店
電話本局七二・三三一・六一・七四九
振替貯金口座一一五九七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

讀んで役に立つと本誌の如きは他雑誌にありや

婦人世界

十二月號 四拾四號　一日發行 三月紫　一冊十五錢 郵税一錢五厘 半年分八十錢 一年一圓五十錢 郵税共

◎結婚式は如何に改良すべきか……村井弦齋
◎子供を殘して離縁されし時の所感(當選)
◎花蹊女史と耕靄女史との比較評論
◎本野大使結婚當時の奇談(茶話)
◎問答 文藝 育兒 齒科 衛生
◎少女物語(姉と妹) 生育の話
◎胎兒 伊庭學士
◎子供が出來て良人の性質は一變せり……宮西竹子
◎最も感心した應接の上手な婦人の實例……川瀬富美子
◎婦人服の裾が風にまくれるのを如何にして防ぐべきか……谷田部順子
◎私は斯の如くに苦心して子供を養育す……小山みつゑ子
◎精神病の婦人を看護して全快させた實歷……金子看護婦長
◎産婆を頼む時の注意……榊博士
◎實子でありながら母に親しまず
◎無邪氣な子供の言葉 墮落せし話……波多校長
◎齒の病氣は何より起るか……志村ドクトル
◎我が家の實驗
◎内親王殿下の御給仕
◎お正月の重詰……弦齋夫人
◎古今文藝談……白水
◎我が子の嫁に彼女を選びしは何故か……鳩山春子

東京京橋南紺屋町　實業之日本社　振替貯金口座二一二六番　賣捌全國各地書店

時間ト 松 割引

十二月一日より三十一日まで

改築紀念大賣出し

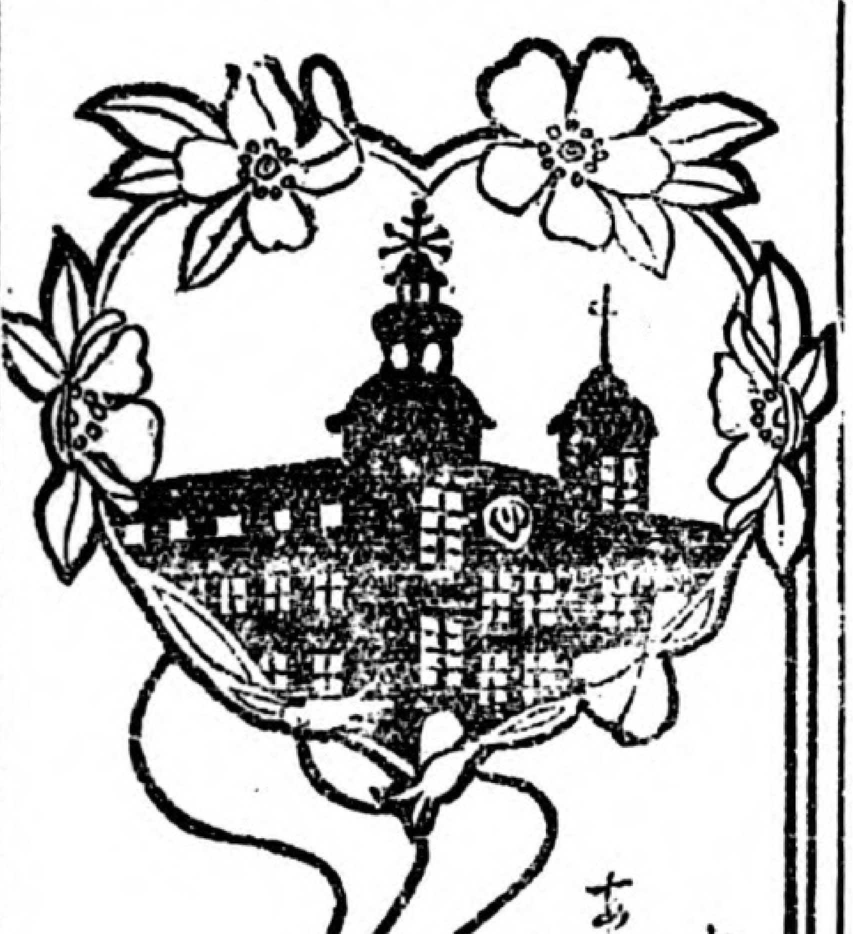
右祝意の爲め御仕着物表うら貳反組合せ組反として毎日五百組限り非常特別直段にて賣出し申候

餘興 一割引

十二月一日二日三日及毎土曜日曜日に限り午前十時迄に御來店の御客様に對し(ヨセキレ見切反物及組反の外)なんでも一割引

松屋呉服店

日本橋通四丁目
牛山武兵衛
電話本局 六〇八番 七一六番



本場の特色
あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣し市内へ無賃で配達致します
お買物券を發賣して館内勸工場それぞれの品と引換致します

東京新橋角
帝國博品館
電話新橋 二一六 二五六 二一六二

日本橋 大勸業場 東京名所

宮内省御用品

最上醤油元祖

開業貳百六拾四年

我ヤマサ印醤油は畏くも宮内省御用の恩命を賜はれる天下無比の最上品にして香味佳良且滋養に富み色澤優美にして衛生に適するは大方華客諸君の夙に嘖々賞讃せらるゝ所に御座候近來新式の醸造法を吹聽する者有之候得共品質最上にして香味佳良なるものは決して短期間に釀成し得るものにあらず舊來の釀造家と雖も敢て舊慣を墨守するものに無之候弊社の如きは十數年前より化學上に於ては宇都宮三郎先生に機械上に於ては吉田朋吉先生に諮問し爾來專門の技師を聘し舊古の規範の上に文明の學理を應用し機械の用ふべきは大に之を用ひ避くべきは之を避け改良の上に改良を加へ尤も學理と實地との調和を圖り完全無欠に釀造しつゝあるは内外國博覽會より賜はれる金銀牌の證明する所に御座候今や又增石發展の期に際し尚一層吟味精釀に丹誠を凝し出荷致候間何卒倍舊の御愛顧を垂れ賜はんことを伏して奉願上候敬白

明治四十一年十一月十一日

千葉縣銚子町
ヤマサ 醤油釀造元濱口合名會社
社長 濱口吉右衛門

景品附發賣 御披露

一樽に付 特製ニツケル石鹸入 外に 特製石鹸各壹個
拾樽に付特製新案縮緬帛紗壹枚

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人くらぶ

第參號　十二月一日

定價十五錢郵税一錢半六冊九十錢一年一圓七十四

▲貧德翁の家庭教育　坂本易德
▲妻撰はんとして立し標準　大槻孤影
▲親戚間懇和會の面白き例　記者
▲處女の時代自白　野川夏子

全部船來紙
●最近に起るべき婦人界の變動…浮田和民
●英語を學ぶべき女子と學ばざる女子…津田梅子
●余をして人の妻たらしめば…安部磯雄

▲初めて子を持つた親の感想　柏樹下人
▲家庭科學ふち薬　理學士KH中山
▲女の人相と性質　石庭
▲女子の新職業　ミシン　シンガ　ミシン　奏利舞子

▲眞ごころ　國木田治子
▲秋草の記　齋藤吊花
▲孤兒の墓　吉江孤雁
▲もやし床　前田曙山
▲平民料理　齋藤稻子
▲少女クラブ　少女記者

▲孝女おりゑ　西尾麟慶
▲女文和歌俳句實益談
▲美
口繪　▲彩色版春仕度　田中半古　▲高原雪中　▲寫眞　川八郎六頁　▲懸賞習字石版

東京日本橋區本銀町四丁目十七　紫明社　(振替口座一七五五四番)

めりんす友禅　古渡り唐ざん　其外おし[illegible]式格安物
東京日本橋人形町通り[illegible]
赤のれん　おだなや本店
電話浪花四三四五

新着品

最新流行ショール
新柄コート地トンビ地
旅行用毛布類

●高等出來合コート及トンビ
澤山階上に陳列致置候
●右之外新着毛織物類種々陳列致候間御遊歩旁々御立寄御高覽被下度候

東京本町
中喜商店
電話本局長七五〇　三八〇五五
振替口座三八〇五五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▷二大婦人雜誌掉尾號の大活動◁

少女世界

（口繪）
▽少女の讀書
▽山家の冬
▽仙臺の書會
▽愛讀者面影
▽樂しき集會
▽女學校巡り

◎唱歌 運動會 田山花袋
◎小說 天橋姫 巖谷小波
◎訓話 煤掃 石橋思案
◎編物 雪帽子 三木富子

○第六回筆蹟 ●露子の旅行 ○桃子の別れ ●仙臺少女會 ○地上の衣服 ●十二月行事 ○九州口演說 ●仲なほり

◎夢の神 三島霜川
◎薄氷物語 竹貫直人
◎お化粧 藤波久子
◎歲暮の歌 佐々木信綱

十二月一日發行 拾六號
正價拾錢 郵稅一錢
▽前金郵稅共 四冊四拾二錢 八冊八拾三錢 十六冊一ヶ年一圓五十六錢

女學世界

十二月一日 拾六號 正價廿錢 郵稅二錢 前金稅共 八冊一圓六十一錢

◎不完全なる結婚を防ぐ法 佐々醒雪
◎喜ばしき婦人界の傾向 淸藤秋子
●貧血病の治療 ●冬の小兒衞生……
▽苦勞を知り初めし娘の日記
▽氣味よく暮さねばならぬ母娘
◎孃を嫁がせたる母の苦心 加納子爵夫人
◎當世奥樣の社交的態度 花子
●卒業生の行衞…… ●衣裳展覽會…… ●主婦の嗜み…… ●爲替事務競技……
▽婦人と財產（山路愛山）
▽配偶者の撰擇（落葉）
◎常識の無い女の悲むべき實例 宮川壽美子
◎洋行中に見聞して痛切に感じたる事柄 安井哲子

（東京市本町三） 博文館發行 （振替貯金二四〇番）

警告!!

類似摸造品數多あり甚しきは其包裝まで摸倣したるものもあり注意!!

タカヂアスターゼ

●澱粉不消化 消化不良に原因する胃腸病中其七割五分は澱粉不消化に起因すとは歐米の統計が明示せる所なり肉食人種に於て已に斯の如し然るに本邦人は專ら米飯を以て常食と爲すが故に脂肪と蛋白質は泰西のそれに比して少きも澱粉質に至つては甚だしく多量なるを見るされば消化不良中澱粉不消化病の吾國に多きは當然の事といふべし從つて唾液の作用を補佐して澱粉をよく溶化し又糖化する藥品タカヂアスターゼは吾人が常に缺く可からざる藥劑なり（說明書は直接發賣元に要求せよ郵呈す）

東京市日本橋區南茅町二番地
三共合資會社

岩佐病院 日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六九七番）

診察時間 自午前九時 至正十二時

內科婦人科 院主 岩佐純
內科 院長ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
產科婦人科 醫學士 西村漸
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

耳鼻咽喉 病診療 入院應需
中村醫院 淺草區向柳原町一丁目二番地左衞門橋通り 電話下谷壹壹三〇

小兒病診療 宅診午前 往診午後
淺草區福井町貳番地 醫學士 內田愼太郎 ●電話下谷七一八番

滿下の婦人令孃に急告す!!

國民百科辭典

特價金二圓八十錢 送料市內四錢內地十六錢 臺灣樺太淸韓各四十錢
四六判 頗美裝 千七百頁 石版美畫卅四枚 木版圖千五百個

今の世界は知識の世界なり、勝利は最も多くの知識を最も速に獲て最敏捷に活用する人の手に歸す。此貴重なる知識を一般國民に供給して何人も最少の時間を以て最多の知識を獲收し得るは國民百科辭典の特色にて萬有四萬の項目は悉各人の知らざるべからざる事物、博士諸大家百餘氏の解說は的確明快にして最近の學說深奥の知識を傾瀉し、鮮麗精巧饒多なる挿畫はは解說を補助し美感を養ひ趣味を向上せしむるに足るべし。而して此の豐富なる材料を四六版千七百頁に縮包したれば携帶檢索至便にして最も理想に叶へる辭書の典型たり。かくて本書一冊を藏すれば座ながらにして多數知名の學者を師とし、各種各學科の知識を習得し、古今東西の事蹟、狀況を知悉するの便宜あり。時々刻々の疑問も直ちに解答を得べし、職業を問はず、階級を問はず、男女を云はず、老壯を云はず、各人各家必携必讀の活辭典なり』。特に比較的社交範圍狹くして日進之知識を獲取し百般の書物を見聞する機會少き婦人には此上もなき良師良顧問にして之に質せば家政上社交上兒女教育上求むるとして得ざる事なかるべし』。此の如く至便重寶なる辭典が僅かに貳圓八拾錢にて購ひ得らるゝは眞に驚くべき廉價にして、貳圓八拾錢はネクタイ壹條半襟一掛の價に過ぎず、この輕少の費を以て萬有知識の寶庫の購得られて自己を益し家庭を利せらるとせば如何にも低廉なる者ならずや』。弊社が嚮に我邦百科辭典の嚆矢として家庭百科事彙を發行し家庭を中心として世界の知識を結ひつけ幸に江湖の歡迎を得て社界に貢獻すると少なからざりしは讀者諸君の記憶せらるゝ所なるが本書は世界的知識を主として汎く卑近なる雜事に到迄苟も萬有の事物は網羅し盡したれは家庭百科事彙と相待つて姉妹の如く此の兩書を備ふれば社會萬般の知識は物を嚢中に探るに等し。『活動社會に處して修養を怠らず、益々向上進歩せんとするものは、必本書一部を備へて其知識を增進し、其の心神を樂ませ而して其書齋を飾り、其家庭を賑はし給ふべきなり。

見本 挿畫入冊子 往復はがきニテ御申越次第送呈
◎期日切迫至急御請求を乞ふ

主なる執筆者

男爵 岩村透 農學博士 稲垣乙丙 文學博士 井上哲次郎 工學博士 井上仁吉 文學士 今井貞臣 理學博士 池田菊苗 醫學士 石川日出鶴丸 理學博士 石川千代松 理學士 石谷傳市郎 文學博士 芳賀矢一 陸軍中尉 芳賀眞五 法學士 花岡敏夫 文學博士 服部宇之吉 文學博士 萩野由之 醫學士 西卷保市 文學士 閑再平

醫學博士 土肥慶藏 醫學博士 千葉稔次郎 醫學士 千葉眞一 文學士 長連恒 文學士 大原貞馬 理學博士 大幸勇吉 理學士 大日方順三 理學博士 大森房吉 理學士 小川琢治 工學士 岡田陽一 大藏技師 岡本金一郎 法學博士 河津暹 工學士 陰山金四郎 文學士 龜田次郎 文學士 樫尾治 工學士 横濱勉

早稲田大學講師 吉田東伍 理學士 吉田好九郎 理學士 田畑輔四郎 醫學士 高橋忠節 工學士 高橋享二 法學博士 高田早苗 農商務技師 田子勝彌 醫學博士 田代義德 法學博士 副島義一 文學博士 坪井九馬三 理學博士 坪井正五郎 工學士 辻本滿丸 工學士 直木倫太郎 文學士 中川忠順 法學博士 中村進午

理學博士 中村清二 理學博士 中濱東一郎 海軍大尉 村越入郎 文學博士 上田萬年 宮內省樂師 上眞行 音樂學校助教授 內田粂太郎 理學士 野田勢次郎 理學士 國枝元治 文學士 箭內亘 工學士 山田博愛 女子高等師範學校 山口酉三郎 醫學博士 山口秀高 理學士 山崎直方 工學士 松龜信太

藥學士 慶松勝左衞門 文學博士 藤岡作太郎 高等師範學校教授 小泉又一 手塚千代吉 理學博士 守尾壽 文學士 有馬祐政 醫學博士 天谷千松 法學士 西鄕陽 農學士 佐藤壽衞 文學士 相馬明次郎 ドクトル・フィロソフィー 氣賀勘重 醫學士 蛇下功一 理學博士 岸上鎌吉 工學士 三橋四郎 理學博士 三好學

文學士 濟淵遁馬 法學博士 志田鉀太郎 文學博士 白鳥庫吉 林學博士 白澤保美 早稲田大學講師 島村抱月 文學博士 幣原坦 海老名彈正 高等工業學校教授 平野耕輔 本山白僊 文學士 森田鐵三郎 文學博士 瀬川秀雄 關約 文學士 鈴木鍋幸 編纂主任 文學博士 芳賀矢一 文學士 長谷川福平

發行所 東京神田 合資會社 富山房 電話本局一〇三六番 （振替貯金五〇一番）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本金千八百萬圓

東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 一三〇番 一五三〇番 一九三番

同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番

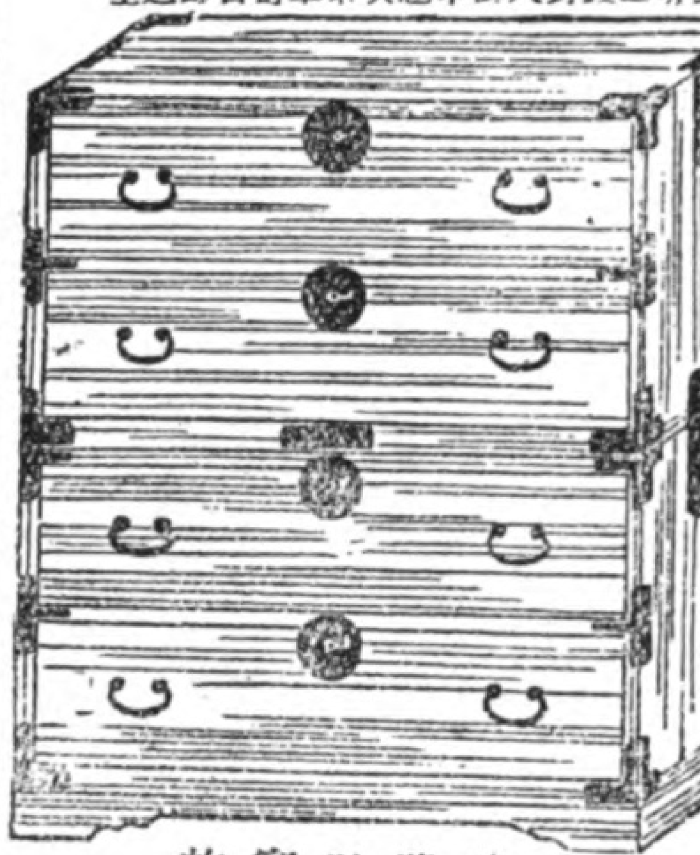
一 定期預金 六ヶ月以上年五分
一 當座預金 日歩七厘以下
一 特別當座預金 同 發

最新流行 美術蒔繪 結納 御用品 和洋化粧品 ……

今回佛國より最新季節向束髮用四五六吋リボン到着
極齒通りよきハイカラ櫛
タボ櫛 横櫛 三枚櫛 新着仕候

東京神田美土代町三丁目十七番地
内科一般 午前宅診 午後往診 板垣亨
電話本局貳千九百七十番

郵券二錢封入御申越次第簞笥目録送呈
高等 簞笥長持類
御婚禮用萬指物迅速丁寧調進仕候



出塞預防寶施

日本橋區小傳馬町一（電浪花一四三五番）
長島屋 長谷川簞笥店

最上醬油
キハク印
於鹽路島博覽會 名譽大賞牌受領
釀造元 千葉縣野田町 茂木七郎右衞門
電略號（キハク）又（ハク）

キハク印
醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店 日本橋區小網町三丁目 中野長兵衞 電話浪花五七七四

芝愛宕町
東京病院 電話新橋 一二六〇 一二六二
院長 醫學博士 男爵 高木兼寛
内科 外科 産科 婦人科 耳鼻咽喉科 皮膚科 梅毒 泌尿器科
各專門分擔

良藥にして口に甘し
たんせきに あさだあめ 淺田飴 すきはらにめし
たんせき ひきかぜ はいびやう よわきくに よし
定價 金五錢 金拾錢 金貳拾錢
東京 本店 堀内伊太郎 大坂 支店 全國藥店 取次

懷中要藥 清心丹

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番
鳥山内科院

改良醬油
お臺所の改良を念とせらるゝ奥樣方は皆日本醬油の愛用者なり
市内及び全國の各酒醬油店に於て販賣いたし居候
日本醬油釀造株式會社
東京深川 小名木川通
マルニホン　ウメニホン　ヒシニホン　フジニホン

産科婦人科專門
淺草區左衞門河岸 電話下谷一〇二八
診察毎日午前 入院隨時
岩田病院

婦人病專門
芝明舟町十九虎門外宮樣前 電話新橋三三二四
院長 櫻井克己
櫻井醫院

ちゞれ毛 赤毛 くせ毛の人に告ぐ
二瓶一組小册子錢中五拾錢大一圓前金無送料代金引換注文は廿二錢申受、取次人申込該液劑は獨逸醫學博士の發明に弊店多年の試驗劑を加味せし新藥にて僅か十分間に染上り黑き光澤を發し美麗なるは鳥羽の如し而して永久禿げる事なく毛を切らず皮膚に無害なるは弊店保證す明細書は郵券貳錢送れ
毛染所 東京京橋區本材木町三ノ四 岡田商店

白毛を未前に防ぐ特効あり
專賣特許願の藥にて妾御得意に試みし處一人として全治せぬ方なき奇藥あり困難者に告げたし往復はがきにて御照會あれ詳報す
東京市京橋區桶町四（女髮結業）山岡さだ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

少年鑑

!!!クリスマス、新年の理想的進物現る!!!

東京高等師範學校教授 亘理章三郎先生著

洋裝頗る美本函入菊判全壹冊挿畫百餘個正價金壹圓五拾錢郵稅金拾貳錢

本書は古今東西の偉人の少年時代の事實を主とし少年の德行を記述したる者也。人を傳する百十、訓言、詩歌を記する三百、畫を挿む百、材料は豐富にして多方面記述は懇切にして平易興味津々たる中に自ら教化を與へ人をして感情興起せしむ、修養立志に意ある少年は必ず本書を讀で座右の寶典とせよ、子弟の訓育に志ある良妻賢母父兄教育家は必ず本書を教育資料とせよ

一弊館は誇大の言をなさず至る處有力書肆にあらば現品に付き内容一覽の上御購求の榮を賜らんことを乞ふ

製本既成發賣

發行所 東京神田猿樂町貳 振替口座壹貳壹壹壹 弘道館

家庭の重寶

世界好評

專賣特許 名和式蒸燒器(一名テンピ)

在來のテンピと異り頂上に火を要せず焜爐の火力のみにて輕便迅速に和洋割烹に最適當の器なり、大器二圓七十錢 中器二圓廿錢 小器一圓七十錢(說明書往復はがき)

到る處(金物店洋食器店)にあり

東京市日本橋區蠣殼町二の一五 名和商店 電話浪花一一七七 振替貯金一〇二五四

最新流行せる

羽織紐 帯締各種 其外組紐一式

東京日本橋よろづ町 [illegible]組紐舗

電浪一五六 振替貯金一一八五六

冬物出揃

ボアー マフ 羽蒲團 膝掛 御婦人小兒用帽子色々 手袋 靴下類 リボン造花 西洋小間物

牛込神樂坂下 朝日堂 電番一六九九

學校用オルガン

樂器 書籍

新荷着 バイオリン 手風琴、ハモニカ

平圓盤 發音器

十字屋樂器店

特電新橋一二五九 振替口座七一五八

東京銀座三丁目

日本興業銀行

東京市麴町區錢瓶町(常盤橋内)

電話本局 一、二八〇〇番 三、三〇〇〇番 (特)四一一番 三七番 一、〇三二番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目

一擔保附社債に關する信託業務
一有價證券其他貴重品等の保護預
一有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

歳暮賣出し

十二月一日より

流行新柄よせきれ見切反物

日本橋區通旅籠町

大丸呉服店

餘興として福引よりも面白き裏地懸賞擧行仕候

歳暮賣出し

THE GEM

ゼム

衛生家必携 懷中良藥

愛國

理想の婦人

深き母、常に快活なる氣を以て子を育する母の爲身を愛し、家の事を執るに明敏なる婦人

家庭にあり又交際場裡にありて常に淸凉快活ならんには「ゼム」を服用せらるべし

◎主効

◎頭痛◎眩暈◎氣鬱◎舟車醉◎時候傷◎水傷◎食傷◎消化不良◎口熱◎口中惡臭◎其他常用すれば氣分を爽快にし音聲を美にし諸種惡疫を豫防す。

定價七十五粒入十錢百六十粒入廿錢四百廿粒五十錢九百粒入壹圓容器入廿錢

東京馬喰町二丁目 愛國堂山崎榮三郎
大阪高麗橋二丁目 山崎兄弟商會

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

腰巻附婦人股引

東京勸業博覽會賞牌受領

腰巻兼用の御婦人股引で其の履き方は上圖の如く合せ目を前にして御結びになるので溫く履き心地も體裁もよく決して腰冷等の憂ひなく冬季防寒實用上是れに上越すものはなし

定價中長壹圓五錢大長壹圓十五錢色白、赤、桃色、鼠、送費内地二足迄八錢五足迄以上當店持

ねびゑしらず製造發賣元

東京日本橋區ふきや町十番地(電話浪花二三四八番)

佃屋シヤツ店

特約販賣元

東京京橋區南傳馬町貳ノ角(電話本局一八二六)

ツクダヤシヤツ店

横濱市伊勢佐木町壹

岡田屋商店

▲宇治茶直接小賣▼

拙家製品ノ眞價ニ就テハ世已ニ定論アリ左記手續ニヨリ注文ヲ乞フ

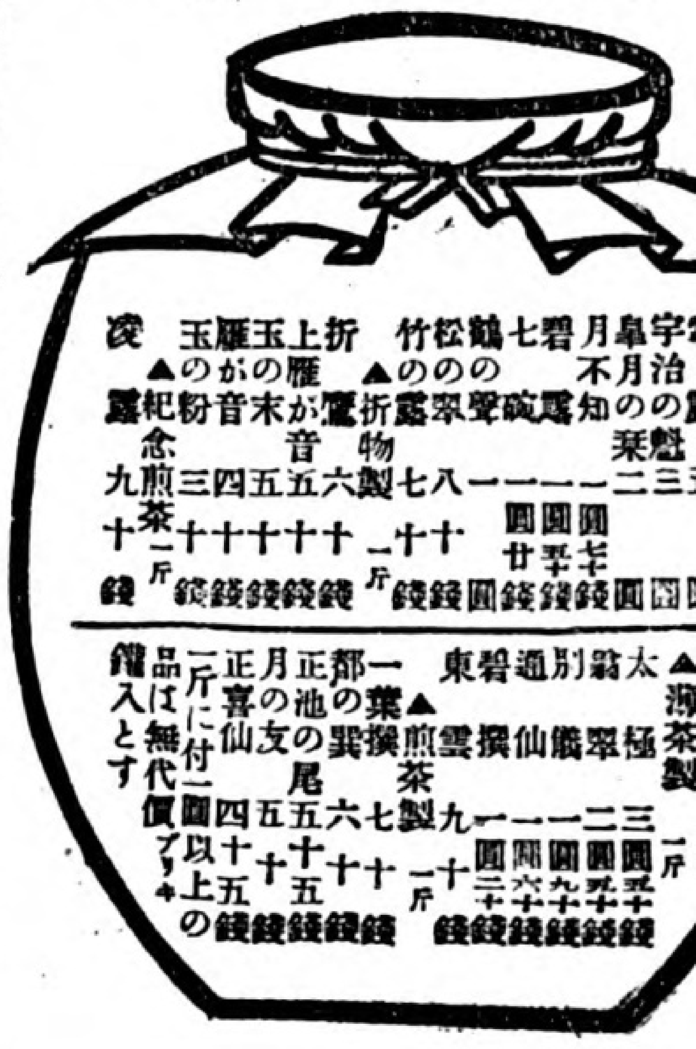
販賣手續

(一)無料ニテ注文シ送金ノ出來ル便法ハ御便利ノ郵便局ニテ振替貯金拂込用紙ト云フヲ受ラレ拙家ノ住所及ビ口座番號一〇〇四番等ヲ記シ裏面ニ御入用ノ茶名斤數其他ノ事ヲ記入シ代金ヲ添ヘ差出サルレバ該金員ハ直チニ拙家ヘ届キマス故ニ早速物品ヲ郵送シマス極安全便利デアリマス此ノ用紙ハ拙家ヘ御申越アレバ何枚ニテモ送リマス

(二)物品ト代金ト引替ニテハ送品シマス故ニ御入用ノ茶名斤數ヲハガキニテ御申越アレバ直チニ代金引替小包郵便ニテ送リマス

(三)送費無料代價一圓以上御注文アレバ小包ハ拙家ニテ自辨ス臺灣及淸韓樺太ハ小包一個ニ付キ二十錢申受ク

經濟ヲ重ゼラルヽ婦人ハ一讀アレ



▲宇治茶製造元小包販賣ノ元祖

山城綴喜郡草内村　振替貯金口座一〇〇四番

七碗堂　古川專太郎

本品は畏れ多くも

常宮殿下

周宮殿下

富美宮殿下

泰宮殿下

御使用品

高等香油

チエリーオイル

紳士貴婦人令嬢用

千九百七年式巴里流行

乳状薄化粧料

フエスクリーム

珍らし敷新輸入品

最も日本婦人に適し皮膚の營養滑澤に實効ある

佛蘭西新式煉白粉代用品

本品は顏を洗ひ乾きたる後少量を萬遍なくぬり摩擦すれば實に得も云へぬなめらかによきつやを出し香氣よくあれを防ぎ白粉やけ皺のよる憂なし又ゑりの汚れることなき嶄新良好なる薄化粧料として紳士貴婦人間に高評あり

定價一瓶三十五錢全國到る所の賣藥小間物化粧品店にあり

東京市日本橋區本町二丁目

チエリーオイル本舖

發賣元　高橋初次郎

振替貯金口座一〇九三二番　電話長本局四一一三番

年末年始御進物用

御勅題模樣半ゑり、帛紗、帶上、

十五日より歳暮賣出し

半ゑりは赤のまんに限る

本店　神田表神保町壱番　電話本局二八五三

出店　新橋博品館階上

歳暮年玉用品色々取揃へ申候

齒科治療

ドクトル　齋藤淸太郎

麴町有樂町帝國ホテル向(電本千五百十九)

產科婦人科天本醫院

今般小生儀醫科大學產科婦人科敎室辭し本院に於て專門の診療に從事す

下谷區仲御徒町二丁目卅五番地

入院隨時　(故丸茂文良氏跡)

院長　醫學士　天本治

婦人科產科　木村病院

○院長　ドクトル　木村順吉

京橋卅間堀一丁目角(電話新橋二六七〇番)

◎婦人科◎小兒科專門

午前宅診　午後往診

東京市麴町區飯田町四丁目九

女醫　鷲山彌生

にきび　そばかす　あざ

ほくろ●いぼ何程見苦しき慢性患者と雖も少しも痕跡を止めず本院獨特の最新式療法を施し奇麗に速治す

診察時間(自午前八時至午後八時)

神田須田町廿一番地(萬世橋際)

樂天堂醫院

特許一五〇二二號　暖房器

定價(一號六拾圓二號三十圓三號廿二圓)特價(一號五十圓二號二十五圓三號十八圓)にて御注文に應ず但本年内は披露の爲

荷造費(一號(高サ四尺約八十貫)參圓二號(高サ三尺約四十貫)貳圓三號(高サ二尺約二十五貫)壹圓五拾錢

●特色▲當工場が年來乾燥器製作に從事したる經驗に基く一種獨特の裝置▲熱原を火焰と蒸氣とに取り▲鐵壁燒爛せざるが故炭酸瓦斯を發生せず溫熱快適衞生上無害△煙突の噴煙殆無△火災絕無△多數の放熱鈑を附し且形狀特殊なれば熱の發射自由且つ發熱面に非常擴大す△利用し得べき熱量多大△燃料薪炭又は石炭普通器の三分の一△熱の傳播迅速室内溫度忽ち平均す△三號は體裁優美にして最も日本室に適す木炭用煙突を要せず

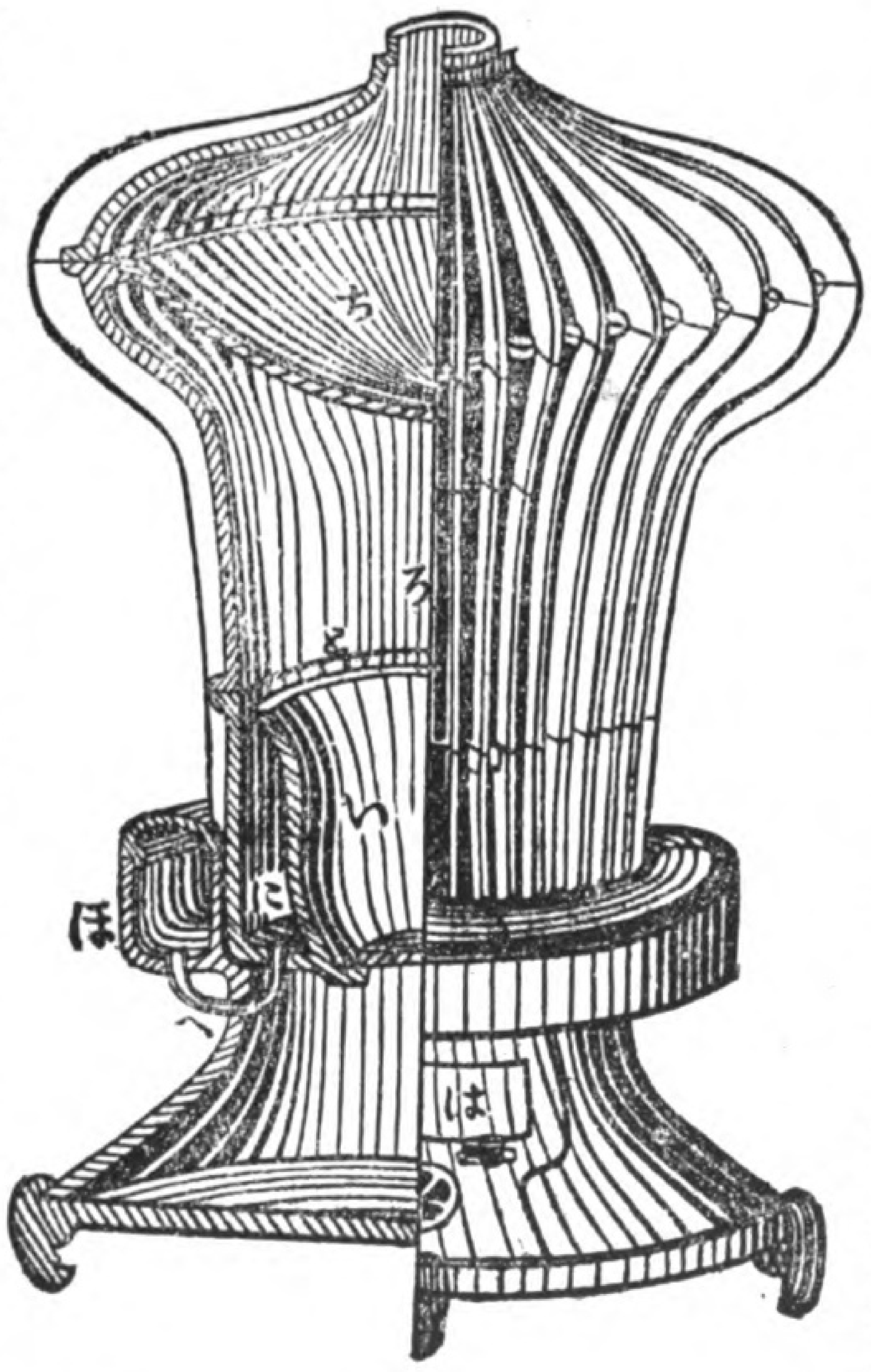
●應用は甚廣し△普通暖房用(一號は四間に五間位二號は三間に三間位三號は十疊位の室に用ふ)頗る非常に爽快にして宛然春光に接する如し故に官公衙軍隊學校病院銀行會社家庭の必備品△生繭乾燥用(一號三石入二號一石五斗入共に全乾燥十一時間殺蛹四十分)し糸質を傷害せず故に色澤解舒は未曾有の妙境に達す其他物肥料麵類染物洗濯物等有ゆる物品に用ひて天然乾燥以上の好結果△蠶室溫暖用蠶兒の發育完全即ち養蠶は不確實なりと◎舊想を根本的に打破す△農家に望む元來本器は小規模なる一般農家の便を計り廉價の良器を供給せんが爲めに特製したる者にして之を乾燥養蠶の兩者に併用せば農家隆昌の礎由て立ち斯界の革命を來すべし△製糸家用大小枠を乾燥し且繰糸場にて水蒸汽の凝結を防ぐに至便なり

◎本器を仰ぐ本器は當工場に据付あり御一覽の上御用命塗色金銀銅色又は黑色等御好に應ず

暖房器

圖解

右半は外形左半は内部にして(い)焚室(ろ)熱室(は)通氣口(に)蒸汽室(ほ)水槽(へ)水管(と)汽口(ち)遮熱障り頂腔



東京市小石川區戸崎町

九十四番地

御法川工場

電話番町長二四一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區蠣殼町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 同
同區南鍋町 京華社支店
廣告社

洗用 ワッセル

◎此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

◎用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脫ますシャツの如きは（拾貳匁入）一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶し拭してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗へし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具の拭き掃除にも有効です

定價　拾貳匁入 金拾五錢　六匁入 金八錢　袋入二錢

東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
全國製ワッセル日本一手販賣元　三友商會

大黑天印 甘味甲斐產葡萄酒 宮崎葡萄液

甘味甲斐產葡萄酒は坊間鬻ぐ處の甘味葡萄酒とは其品質を異にし芳香甘味婦人又は酒を嗜ざる人に適す　定價大壜一打四圓五十錢

宮崎葡萄液は理學博士薬學博士長井薬學博士下山兩先生の指導の下に創製せしものにして恰かも葡萄の實を食するが如く毫も酒精分を含まず腦を刺擊するの虞れなく香味共に佳良にして消化力を助け血を增し肉を肥やし日常これを飲用せば偉大の効を奏し衞生上必須の飲料なり

▲ブランデー、ウヰスキー等に混ぜ飲用せば其の味ひ最も妙なり
▲御婦人又は酒を嗜まさる人の交際場裡に最適當の好飲料なり　定價大壜一打四圓小壜二圓三拾錢

年末年始御進物用には化粧箱　一二本入　半打入　壹打入

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町（電話浪花八七〇）振替口座一九三七番
發賣元　甲斐產商店

三越と歳暮

御歳暮用御贈答品
御年始用御進物品

右は呉服太物類を始め舶來諸雜貨新美術品等種々適當のしな〴〵取揃へ準備致置候外弊店新意匠の

勅題模樣　帛紗半襟其他各種の小間物類澤山に用意致居候に付多少に拘はらず御注文被仰付度く尚は弊店販賣のもの何品にも通用致し候弊店獨特の

商品切手　は最も体裁よく輕便なりとの御好評を蒙り居候間是亦續々御用命被下候樣偏に奉願上候

三越と年始

日本橋 駿河町

三越呉服店

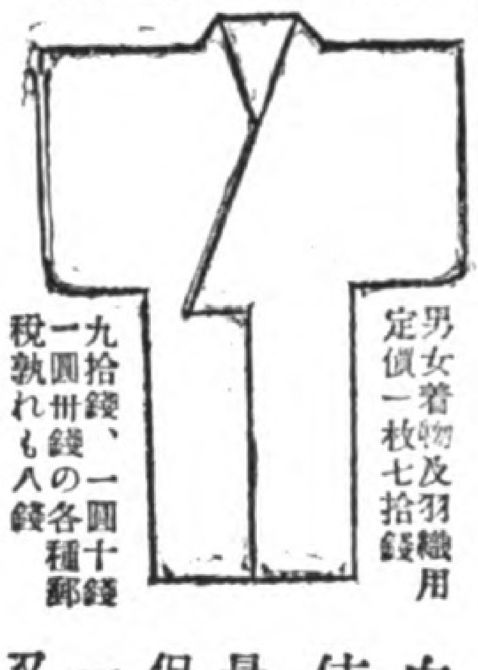
水原產科婦人科病院

○神田猿樂町十二番地
○電話本局千八百九番
○院内ニ產婆學校アリ

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
峰内科醫院
院長 ドクトル メヂチーネ 峰秀世

專賣特許及實用新案登錄

衣裳中入 吹留眞綿（すゐだしとめまわた）



白木屋、松屋、銀座越後屋呉服店にて實地使用販賣其他重なる呉服店綿店にて販賣す

最上等の眞綿製其の暖さと强さは普通眞綿の二倍餘を保ち其のまゝ着物にはいる樣に出來てをりますから御一人でも自由に御取扱ひができます

又御婚禮の御祝物等にもよろしからむ

三越呉服店

寒さ知らず 洗濯の出來る眞綿細工

腹巻。腰巻。男女股引。肌襦袢。チヨッキ。

定價（郵税共）			
腹卷	一圓五錢	特製	一圓五十錢
腰卷	一圓六十五錢	特製	二圓
はだ着	二圓五十錢	特製	三圓
半股引	二圓五十錢	特製	三圓
チヨッキ小	二圓	大	二圓八十錢

御婦人腰卷は優良の藥入眞綿製冷より來たる男女の一般病によく特に產前產後の方によき事は醫師產婆の證明する處です御婦人はだ着は製法薄く召した姿たもよく暖さと其着心地は無上の品にして殊に幾度びか洗濯が出來ますからいつも奇麗でをります

實證　每夜就眠前腹卷を用ひし所以來安眠する事を得日に健康を增されつゝありと云ふ生れ方は希ひ兒女を望むかは攝生の要品なり

報知新聞代理部にても販賣す

東京市京橋區銀座四丁目 電話新橋一七七六 振替口座九四三二
綿問屋　大和屋商店

東京芝區西久保葺手町 電話新橋一五四九
綿絲問屋　さかや商店

東京本郷區本郷四丁目 電話下谷二六五九 振替口座四七八六
綿問屋　桝屋商店

○受賣御望の御方は特約店へ御申込を乞ふ

四十一年十二月五日發行（每月五日廿日二回）（定價金三錢五厘一ケ月七錢郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）
編輯人 永持德一　發行兼印刷人 山澤俊夫
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所
發賣所 同 京橋區南鍋町 株式會社隆文館
印刷所 東京市牛込區市ケ谷加賀町秀英舍工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

愛國婦人會記事

●評議員會日取　來る十六日（第三水曜）午後一時より本部樓上にて開かる。

◎參事會　去月十八日午後二時本部樓上に於て開催本支部給與內規、本會々計檢査法、十月十三日の　詔書に對し本會の立前たる質素の服裝を勵行等の諸件に就き協議せり。當日の出席者は關、三輪田、濱尾、高木、松平、有島、鳩山、仁杉の各員なりき。

●評議員會　去月廿五日午後二時本部樓上に於て開催、秋田支部遺族癈兵の生產事業に對し本部より補助の件、支部會計檢査內規、本部給與規則、同賞與內規等に就き協議す。出席者岩倉會長以下近衞、毛利、三井（苞子）、黑木、阿部、細川、戶田、東鄕、井伊、丹羽、原口、濱尾、松平、有馬、鳩山、堀、渡邊、關、豐島、押川、龜井、高木、山脇、山本、松浦、藤井、有島、佐藤（猶子）、三輪田、三井（五十子）、柳谷、古市、江木、跡見、佐方、三井（壽天子）、仁杉の各員なりき。

◎有功章贈與　淺草區左衞門町中山信重氏は亡母堂中山幸子氏遺志に依り金五百圓寄贈に就き一等有功章贈與せらる。

◎評議員囑托　總裁殿下より左記諸氏新たに本會評議員を囑托せらる。

海軍次官加藤友三郎氏夫人　加藤喜代子
農商務局長下岡忠治氏夫人　下岡まつ子
醫學博士岡田和一郎氏夫人　岡田鐐子
醫學博士青山胤通氏夫人　青山孝子
元長崎縣知事日下義雄氏夫人　日下濟子
靜岡多額納稅者渡邊衞氏夫人　渡邊源子
日本橋區多額納稅者未亡人　淸水米子
陸軍少將本鄕房太郎氏夫人　本鄕きみ子

●遊說員出張　本部遊說員野中彌智子は鹿兒島支部遊說の爲め去廿七日午後三時半新橋發列車にて出張せり。

●故中山幸子刀自の遺言　去十月十七日腸閉塞を以て永眠せられたる本會評議員中山幸子氏の令息中山信重氏は、諸方より靈前へ寄贈せられし供物の答禮を省略し、去十一月廿一日刀自の五七日法要に際し、金五百圓に左記書翰及供物寄贈者芳名錄を添へて本會基本金中に寄附せられたり。

拜啓時下嚴冷の候に候處益々御淸勝に被爲在候段奉賀候陳者本月廿一日亡母幸子之五七日に相當致し候法會相營み申候に付別紙之趣旨に依り貴會之基本金中へ金五百圓也寄附致度候間可然御取計之程奉願上候敬具

明治四十一年十一月廿一日　中山信重

愛國婦人會々長公爵夫人　岩倉久子殿

猶ほ供物寄贈者に對して送れるものは左の如しと。

（寄贈者芳名錄略す）

拜啓陳者母幸子死去之節は御鄭重なる御贈物を賜り感銘之至に奉存候就ては亡母生前の素志を酌み愛國婦人會婦人共立育兒會及婦人法話會へ各位御芳名相添寄贈分之金額を寄附仕り以て御答禮に換へ申候間其情御諒恕被下度右御禮申上候敬具

明治四十一年十一月廿一日　中山信重

●慰問袋に對する謝狀　本會より韓國駐屯軍隊並憲兵警察官に對し寄贈せる慰問袋は豫期以上の好評を博し、左記の如き感謝狀を本會に送付せられたるもの多數あり。

謹啓今般當聯隊將卒一同へ結構なる慰問品御惠贈被下海外に在る者の最も愉快を感じ候は實に母國よりの音信に候處特に今回此の深情に接したるは一同の深く感謝する處に御座候茲に部下一同に代り御禮申上候敬具

明治四十一年十一月十日　韓國步兵第十四聯隊長　齋藤主殿

愛國婦人會々長公爵夫人　岩倉久子殿

謹て拜復任候御貴女樣へは未だ拜顏の榮を得ず候へとも時候の御障りもなく益々御機嫌よく被居られ候御事欣喜の至りに奉存候扨先日は御丁重なる慰問を忝ふし難有頂戴任候殊に我等の如き寸功もなき一兵卒なれど鄕黨の誼を捨て給はず後援の御志を以て御慰問下され候事如何ばかりか嬉しく候はん他國にありては只故國の消息を受くる事が最大の慰安にして就中後援の任に有る國民の慰問を受くる事は壯士の士氣を鼓舞すること多大なるもの有之斯く我等が渡韓以來暴徒討伐の任に服し壯圖にして軍務に精勵するは實にこれ國民の熱心なる後援に勵まされたる結果に外ならずと存候韓國の空より奉謝候尙此上も宜しく御撫恤下さる樣御願ひ申上候先は軍務多忙に取りまぎれ亂筆乍ら御禮迄如斯御座候草々不具

十一月三日

韓國平壤第六師團步兵第二十三聯隊第三中隊　池田寅吉

愛國婦人會評議員　佐藤猶子樣

如何にせば買物をして利益を得べきか　これ見逃すべからざる必讀の大文字ならずや

懸賞繪葉書附　女德論叢を繙く時は自ら解決せらるべし

本社は新に此書五百部を提供す

注　此書の附錄不思議の繪葉書を正當且つ多趣味に解答する時は無代價にて、一部金五拾錢の奧村五百子詳傳其他の書籍を獲得する特權あり提供する部數は

意　僅に五百部　過ぎざる事を記臆されよ

購買の申込は目下が最も好時機也

懸賞繪葉書の第二回當選披露は本號誌上に

絕好なる今日の機會を利用して至急購讀を本誌讀者に勸む

申込所　愛國婦人發行所

定價金貳十六錢郵稅金四錢

△愛知支部▽

●豐橋市幹事部　にては今回十五師團各部隊高師原新設兵營へ移轉するに付、之が歡迎の意を表せん爲、該幹事部下一般會員に對し寄附金を募集し以て手拭を同師團將校以下及該地既設の軍隊將校以下合計約六千五百人に對し各一筋宛寄贈する由。

△大分支部▽

●西國東郡幹事部　先般來郡內各町村に於て遺族會を開催する事とし（各町村毎に開催するは一面遺族並に癈兵及會員出席の便利と一面會員の增募を圖るに因る）去月廿五日を以て全郡高田町に於て戰病死者遺族及癈兵慰藉會及全町總會を開きたり其槪況左の如し。

一、十月廿五日午後一時高田町桂陽尋常高等小學校に於て開會（式順序は畧す）

一、式を終ろに先ち招待せる戰病死者遺族及癈兵十八名に風呂敷（本會徽章を染込たる者）一枚宛を贈呈せり

一、式終て參列者及遺族癈兵に茶菓の饗應をなし其席に於て秋吉顧問は本會の主眼たる救護事業其他必要なる事項を演述し續て遺族及癈兵來賓並會員へ福引籤を配り當籤者には一々物品を贈與せり尙ほ餘興として全町定席遊樂館に於て蓄音器の催しをなし遺族及癈兵を招待し、會員へも無料入場券を配付し、職員は專ら遺族癈兵慰藉に努めたり。

一、當日參會せし人員七拾餘人にして該地方に於ける婦人會としては盛況と云ふべし。右總會には支部より評議員二名、一名は支部長代理として、一名は全職員總代として參列したる由。

愛國婦人會會員女子人口比較表

明治四十一年十月末日現在

支部名	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	卅六年末女子人口	女子人口百人ニ付會員比例	賛助員
山口	二八一	九六四	一,二四五	一,〇四三	二七,五一一	二八,五五四	二九,七九九	五〇六,九二〇	五,八八	一三
石川	五一六	一,四四八	一,九六四	三七九	一九,六五五	二〇,〇三四	二一,九九八	三八五,四七八	五,七一	六六
山形	一六九	八二六	九九五	六一八	二一,〇七八	二一,六九六	二二,六九一	四三九,六一八	五,一六	一〇四
廣島	四四二	二,〇四七	二,四八九	一,一四一	三〇,八七五	三二,〇一六	三四,五〇五	七四六,六五五	四,六二	一一五
愛知	四八九	一,〇九九	一,五八八	一,八四八	三四,〇七九	三五,九二七	三七,五一五	八六八,五三八	四,三二	一〇一
福岡	五〇九	二,二〇三	二,七一二	六九八	二九,七一二	三〇,四一〇	三三,一二二	七七二,七四三	四,二九	四
岡山	二五七	八七二	一,一二九	四二七	二二,六八九	二三,一一六	二四,二四五	五七七,二七二	四,二〇	一二
兵庫	五五〇	一,七二三	二,二七三	一,二七五	三三,五二二	三四,七九七	三七,〇七〇	八九三,七三四	四,一五	一七
島根	一〇六	四三六	五四二	三五五	一三,六七〇	一四,〇二五	一四,五六七	三六二,六三五	三,九九	一
神奈川	四〇六	一,三四九	一,七五五	七四七	一七,二三〇	一七,九七七	一九,七三二	四九九,六二三	三,九九	[illegible]
京都	四六二	二,〇七四	二,五三六	五七九	一七,三九〇	一七,九六九	二〇,五〇五	五二〇,三九五	三,九四	[illegible]
愛媛	九九	二六五	三六四	五三七	一八,八〇三	一九,三四〇	一九,七〇四	五一一,三九六	三,八五	[illegible]
富山	一二四	九五一	一,〇七五	一九〇	一三,一一一	一三,三〇一	一四,三七六	三八四,九八二	三,七三	[illegible]
北海道及函館	五九五	二,九五二	三,五四七	四九三	一五,〇七四	一五,五六七	一九,一一四	五〇七,六二八	三,七二	[illegible]
香川	二一六	五九九	八一五	五二九	一一,二二四	一一,七五三	一二,五六八	三四七,八九〇	三,六一	[illegible]
熊本	二八一	二,六五一	二,九三二	四一六	一八,五八一	一八,九九七	二一,九二九	六一〇,四一一	三,五九	[illegible]
青森	二一九	一,一七三	一,三九二	三七三	九,四五四	九,八二七	一一,二一九	三二二,二二一	三,四八	[illegible]
秋田	二二五	六七四	八九九	四七九	一二,三四〇	一二,八一九	一三,七一八	四〇三,九四六	三,四〇	[illegible]
宮崎	八一	五五六	六三七	一六五	七,八一六	七,九八一	八,六一八	[illegible]	三,四〇	[illegible]
群馬	二一七	一,三六八	一,五八五	一八八	一三,四八二	一三,六七〇	一五,二五五	四五四,二五二	三,三四	[illegible]
長崎	一,二六四	三,四一九	[illegible]	一,二二七	一〇,六三八	[illegible]	[illegible]	四八九,三五〇	三,二三	[illegible]
靜岡	一六八	六八五	八五三	八五九	一八,五六八	[illegible]	[illegible]	六四〇,八七八	三,一三	[illegible]
佐賀	一五一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	三,〇二	[illegible]
福井	一一〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二,八二	[illegible]
大分	一二四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二,七八	[illegible]
栃木	一六〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二,七三	[illegible]
宮城	一九五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長野	一八五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	一二五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩手	七七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	一,四二一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奈良	五四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥取	五一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德島	八一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福島	二七六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高知	五七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉	一七四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滋賀	一二二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茨城	六八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	一四五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山梨	五九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	二七八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埼玉	一五三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	六一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺灣	七六八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岐阜	一〇六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖繩	四一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
韓國	―	[illegible]	[illegible]	―	[illegible]	[illegible]	[illegible]	―	―	[illegible]
海外	二二五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	―	―	[illegible]
計	一二,九八二	五五,六一九	六八,六〇一	二六,九〇一	六五四,六五四	六八一,五五五	七五〇,一五六	二五,三一三,〇四〇	二,九六	一,六一六

備考

（一）支部の配列は會員比例數の最も多きものより順次配列す

（二）北海道及函館の兩支部會員數は合算して掲載せり而して函館支部會員數は特別五百卅一人（終身六十八人年賦四百六十三人）通常千八百四十六人（終身八十一人年賦千七百六十五人）にして他は北海道支部會員數なり

（三）韓國支部の報告は終身會員年賦會員の區別なきに付假に年賦會員の欄に掲載せり

（四）海外委員部の內北米合衆國桑港及シヤトル並に布哇國ホノルヽは報告未着に付之れが調査を缺く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

△大阪支部▽

□**落成式**　大阪西區江戶堀北通四丁目愛國婦人大阪支部にては去月廿日午前十時新築落成式を擧行せりこは卅八年度の大名屋敷跡を修繕せる技術及授產場擴張と共に發展、約三萬圓の巨費を投じ本年三月工事に着手、總坪數百三十八坪ある巧妙にして立派なる建物今回落成せるなりと云ふ。其巧妙と云ふは狹少なる土地に巨大なる建物をなせるにあること本館押入の萬寶販の如くなるも、而かも一方に於ては堅固にして且つ實業を旨とせるは本會の趣旨に適せる建物と云ふべし。其地下室の如き採光頗る完全にして實品室の如き、授業場、寄宿舍、事務室、應接所の如き其外病室等に至るまで巧みに遺憾なく設備せられたる流石に技師設計と當局者周到の注意の結果に基けるなるべし。此の日に落成式當日の景況を述べんに、式場としては樓上の一部他の一部を來賓接待所に階下を各會員の來會者控席等の室に當てたり。斯くて式は愈よ午前九時半に開始、君か代の吹奏に續き事務報告、支部長祝詞、文部顧問祝詞、會長祝詞猶ほ續いて菊池前知事の演說諸來賓の祝詞及演說あり。式終りて從來賓諸氏の接待に移り折詰酒茶菓等の饗應あり來會者一同十二分の歡を盡し十二時散會せり。特に注意すべきは當日接待設備萬端悉く婦人の手に成り、總ての裝飾陳列品の案排に至る迄婦人の苦心に依れることなりし。尙大阪全支部の會員を一時に集合せしむることは人員多數なる爲め困難なるを以て四日に分ち各一日每に東西南北各區の會員を招待することゝなりしと云ふことなるが當日の來會者は斯かゝる事業發達の有樣を見て一同滿足せるものゝ如く「これでこそ、眞實に婦人團體の建旗を救護する模範事業なれ」と云へる由なるが、此一言を以つてしても如何に萬事に行屆けるかを證するに足るべし。最後に左に會長の祝詞を掲げて此稿を結ぶ。

會長祝詞

愛國婦人會大阪支部は本日を卜して授產場新築落成の式を擧行せられ何の喜びか之に如かん顧ふに遺族救兵諸氏の爲めに鐵縫其他運搬の職業を得て生計の一助たらしむるは即ち救護上の良方法にして本會の着眼亦愛に存す大阪支部は夙に茲に着眼せられ各支部に先して授產事業を經營せらるゝこと多年今や其効果歷々として見るべきものあると同時に授產場の新築も亦成るを告くるに會ふ實に本會の爲め一段の光彩を添ふと言ふも業より溢美にあらすと信す益完全の成績を收められんことを望み以て本日の祝詞と爲す

△韓國本部▽

□**慰問袋に對する謝狀**　韓國本部より來狀左の如し。

韓國暴徒討伐軍隊憲兵警察官慰問の爲め曩に本會各支部及韓國各委員部に於て慰問袋并繪葉書を寄贈致候處右各部より當委員本部へ送付したる繪葉書代金中慰問品運搬費郵電費等を控除したる殘餘金を以て更に　總裁殿下御欣入縮緬帛紗を新調し將校准士官及警察高等官に寄贈し且つ輸運軍隊輸送地に關する韓國各委員部に殘餘金を分配し本會を代表して輸運軍隊に相當物品を贈呈し送別の意を表せしめ候間御承知相成度別紙其筋宛提出書面并謝狀相添此段及御通報候也

追て慰問繪葉書殘部各支部宛紀念の爲め分配することゝ相成候別包を以て送付候間御受領の上可然御取計被下度申添候也　明治四十一年十一月二十日

愛國婦人會御中　愛國婦人會韓國本部

慰問品寄贈の爲め拠出書寫

拜啓韓國暴徒討伐の爲め各地に駐在せらるゝ軍隊憲兵警察官諸氏に對し聊か慰藉の意を表する爲め當委員本部に於て慰問品寄贈の計畫を爲し候處東京本會府縣各支部并韓國各委員部の贊同援助する所となり今般七拾余萬の會員有志中に於て熱誠なる同情を以て調製したる慰問袋に紀念繪葉書を直接間接討伐に從事せられたる諸氏貳萬參千余人に寄贈する事に相成候間右慰問品送納の上は御交付方可然御取計相成度此段得貴意候敬具

明治四十一年九月廿八日

愛國婦人會韓國本部長　鶴原誠子

長谷川軍司令官宛
岡崎第十三師團長宛
明石憲兵隊長宛
宋韓國內部大臣宛

(以下四通右に對する謝狀寫)

拜啓貴會益々御隆盛奉賀候陳者今般貴本部の主唱に基き東京本會府縣各支部並に韓國各委員部の熱誠なる御同情を以て暴徒討伐に關係ある諸員に對し慰問袋並紀念繪葉書の御寄贈を辱ふし御厚情の段深感謝仕候先般來夫々各部隊に分配中の處茲に其頒布を終り候に付御承知被下度先者御禮を兼ね御通知迄如此に御座候敬具

明治四十一年十一月四日

韓國駐剳軍司令官子爵　長谷川好道

愛國婦人會韓國本部長　鶴原誠子殿

一慰問袋五千拾貳個

右は警察官一同に御贈寄に預り御厚情の段感謝の至りに存候早速各個に配送致候間御諒知相成度先は不取敢謝意を表し度如此に御座候早々敬具

隆熙二年十月二十四日

內部大臣　宋　秉　畯

愛國婦人會韓國本部長鶴原誠子殿

謹啓益々御清榮奉賀候陳者暴徒討伐從事者に多大の御同情を寄せられ貴部の御發議に依り東京本會地方各支部並に韓國各委員部を初め數多の會員有志者の熱誠なる御同情を以て調製せられたる慰問袋紀念繪葉書御寄贈に預り御厚意奉感謝候不取敢部下一同に代り謹而御禮申上度如斯に御座候　敬具

追て各部並に會員有志者へ御禮方可然御取計願上候

明治四十一年十月三日

第十三師團長男爵　岡崎生三

愛國婦人會韓國本部長鶴原誠子殿

拜復貴會員御一同の熱誠を籠められたる慰問品御寄贈を忝ふし感謝の至りに存候御芳志は洽れく傳達し御厚意に副はん事を期し可申候一同に代り御挨拶申上度如斯に御座候　匆々敬具

明治四十一年十月六日

韓國駐剳憲兵隊長　明石元二郎

愛國婦人會韓國本部長　鶴原誠子殿

慰問品寄贈の爲め更に拠出したる書面寫

拜啓韓國暴徒討伐軍隊憲兵警察官全員諸氏慰問の爲め曩きに本會各支部及韓國各委員部に於て慰問袋并に繪葉書を寄贈致候處今般將校准士官及警察高等官諸氏に對し更に總裁殿下御欣入縮緬帛紗を調製寄贈する事に相成候間御頒布方可然御取計被成下度此段得貴意候敬具

明治四十一年十一月十日

愛國婦人會韓國本部長代理名

長谷川軍司令官宛
岡崎第十三師團長宛
明石憲兵隊長宛
宋內部大臣宛

(以下二通右に對する謝狀寫)

拜啓陳者曩きに隊員一同に對し慰問袋等御寄贈を辱ふし今又將校准士官に對し好紀念品を惠送せらる篤に感謝の至りに存早々帛紗現品を頒つと共に御貴志無漏相傳可申右御挨拶迄如斯に御座候　敬具

明治四十一年十一月十二日

韓國駐剳憲兵隊　明石元二郎

愛國婦人會韓國本部長代理
副長伯爵夫人　兒玉澤子殿
副　長　三浦喜代子殿

謹啓今般暴徒討伐に關係したる警察高等官へ帛紗御寄贈被成下難有奉感謝候早速夫々配送致候間御諒知被成下度不取敢謝意を表し度如斯に御座候　敬具

隆熙二年十一月十六日

內部大臣　宋　秉　畯

愛國婦人會韓國本部長代理
副長伯爵夫人　兒玉澤子殿
副　長　三浦喜代子殿

△韓國本部▽（其二）

□**釜山委員部**　去十一月廿一日を以て總會を開き、廿二三兩日演藝會を釜山座に於て催し、活動寫眞、狂言、洋樂、手品、踊、落語、活人畫等の各種演藝ありて委員部長以下委員諸氏の盡力斡旋により頗る盛會なりし由。

△熊本支部▽

□**詔勅捧讀式及例會概況**　去月十六日午後一時より赤十字社熊本支部內に於て今般渙發せられたる詔勅捧讀式を擧行し引續き例會を開きたるが、出席者は川路支部長西島評議員以下幹事會員八十餘名侯爵令嬢細川靜子氏は特に臨場せられ川路知事相談役石川、槇山、永田三事務官其他南木大藏本派本願寺駐在布敎使津梁照圓、矢毛智道の三師及鳳山正登氏御綱高等女學校教師筑山順子氏亦來會支部よりは主事并事務員出席、定刻に至りて開式一同起立敬禮川路顧問先つ捧しく詔勅を捧讀し　聖旨に就き大要左の如き一場の訓話あり本日は忙かしき中を特に繰合せて多數參集せられしは誠に感謝に堪えざるなり

一般　御詔勅の御下賜は近くは日露開戰の際國民一般に戰爭の已むべからざることとなり、上下一致して此空前の國難に當るべき旨を　宣諭し給ひたると三十八年平和克復の際に下し賜ひたるとの二回ありしのみにて事實戰役等國家非常の時にあらざれば容易に渙發せらるゝが如きこと無かりしなり。今捧讀したる　御詔勅は戰役國民一般が當に行ふべき事柄を廣く精しく　宣諭し賜ひたるものにして貴女等は既に新聞紙上にて拜讀し奉り　御趣旨の在る所をも充分に承知せられたるべく又假令此の　御詔勅を拜讀せざる迄も　御趣旨にある事柄は平素に於て踐み行はれつゝあるべければ茲にくだくだしく言ふの必要も無かるべし人は各々其身相應の務めあるものなれば其務に從ひ勤め勵みて怠らざることこそ望ましけれ猶少しく餘事に涉れ共一言貴女等の清聽を煩はしたきは戰後一般の氣風が奢しく奢侈に傾きつゝあることとなり農商務大臣の話によるに化粧品の加き女子の使用以外男子にも亦盛んに使用せられて外國よりの輸入品年々非常の多額に上ると云ふ恐ら男子が化粧を爲すの眞意果して那邊にあるか余は到底其推量に困むものなり我國戰時に於ける二十二億圓の負債は早晚之を償還せざるべからずして財政最も困難を極めつゝある目下の狀態にも顧みず國民一般が奢侈の惡弊に流るゝが如きは實に歎かはしき次第にあらずや

卅七八年戰役當時余は岐阜縣に奉職し居りしが仝縣出身の兵士は皆金澤御國の鯖江と敦賀との二箇聯隊に入營し居れるを以て夫れ等の兵士が戰地へ出發前出張して親しく各兵營を訪問せり、然るに猶々盛夏炎熱の折へ歸かりし時にて、營舍の外庭には此處彼處の軒下に三々五々兵士を取圍みて其妻子親族が喃々互に別れを告けつゝあり是等の兵士は多く豫備後備軍に屬して年齡三十位より四十五六にも上りつらむ家には皆最愛の妻子を殘し留きたる身の愛數日を出でずして愈々戰地へ向ふと云ふ間際なれば其家族等は照りしきる暑さを厭はず思ひ〳〵に斯くは見送りに來れるなり、さて荷其有樣を見るにこゝに集れる老親妻子は其夫其子が君國の爲將た遠く戰場に赴かんとする男ましき名譽の首途を送り且つは今生にての最後の對面とならんも知れざれば胸に溢るゝ情の限りをつくして語らへたる大根午蒡等の實用を重箱にし田舍の事なれば粗末なる風呂敷包にそれを包みて遠路態々持ち來り木立軒下の日陰を占めてそを開きゝ心ばかりの別れの宴を張れるなり、余は當時見るからに思はずも可憐の涙にむせびたりき嗚呼實に斯の如くにして我國民は遂に光榮ある大勝利を得たるなり而かも戰後僅かに二三年を出ず當時の悽滄たりし有樣猶目の前にあるの今日既に其艱難を忘れておもふことなく滔々として奢侈に溺るゝが如きは將來國家の爲誠に寒心にたへさるなり今優渥なる　御詔勅を捧讀して恐懼のあまり聊か所感を述ぶ

斯くて嚴肅の中に式を終へ直に例會に移りしが津梁布敎師は南木師の紹介にて「一般宗教の意義」を論じて「詔勅に及ぶ」てふ演題の下に有益なる講話を試み筑山女史亦例に依り例案の實習敎授あり河內山主事より會務の報告を爲して散會せしは午後五時過なりしが近來稀なる盛會なりき

△本號附錄寫眞說明△

上圖は德島支部德島市幹事部職員　第一列向つて右より幹事三浦多鶴子、幹事吉井イツ子、副長堀內遊代子、幹事三松重子、幹事三木ミヽ子、幹事加藤セト子、仝第二列向つて右より、幹事藤本初子、幹事渡邊フサ子、幹事天羽郁子、幹事山岡順子、幹事野崎梅子、幹事佐友キノ子、幹事吉田ナカ子の諸氏にして第三列の男子は凡て事務員なり。

下圖は本年七月廿六日卒業式を擧げたる、東京盲啞學校失明軍人講習會會員の紀念撮影なり、其主なる來賓會員は左の如し。

第三列向つて右より四番目、失明軍人講習會長石黑男爵、第二列向つて右の端より、會員岡部由太郞、仝大森吉三郞、仝日置安太郞、東京盲啞學校長小西信八、入番目會員吉益陸三郞、九番目會員田中庄太郞第一列向つて右より會員高田村之助、會員谷川章治、會員臼井勢吉、山本榮吉、中山重一、吉田悅次郞、栗城卯太郞、大久保清太郞、小田平吉、伊藤金二等の諸氏なり（本誌第百五十八號雜報欄參照）

短册　向つて右なるは本會評議員鍋島侯爵夫人、左なるは仝じく評議員阿樋絢子氏の何れも癈兵に寄する詠草なり。

子爵小笠原長生立案
陸軍少將佐藤正校閱
愛國婦人會編纂

奥村五百子詳傳　全一冊

刊行以來僅々數ヶ月の間に、多大の部數を提供したる本書の內容は、既に世の定評あり、我が愛國婦人會の主唱者たる刀自の面目は、髣髴として本書の誌面に現出す、而して本書は刀自の傳記を詳かにすると同時に我愛國婦人會の過去及將來の方針を知らんとする者の燈明臺なり、須く諸氏の購讀を勸む。

殘部既に數百部に過ぎず、速かに申込まれざる時は、悔ゆとも及ばざる事を記臆せられよ。

△定價金五十錢郵稅東京市內四錢其他は八錢

申込所　愛國婦人發行所

△次に掲載せる廣告主小田平吉氏は癈兵にして今回マツサージ鍼治を開業したる者なれば特志の方々は御用仰付らるゝやう希望す。

治療奏効疾患

中風不隨、一局部の不隨、腸胃病、子宮病、頭痛、僂麻質斯、脚氣、神經痛、打撲傷、挫傷其他醫師診斷の上必要と認むる諸症、遠の遠近を問はず何時にても左記の電話又は御一報次第迅速參上可仕候

但し手引案內者を要せず

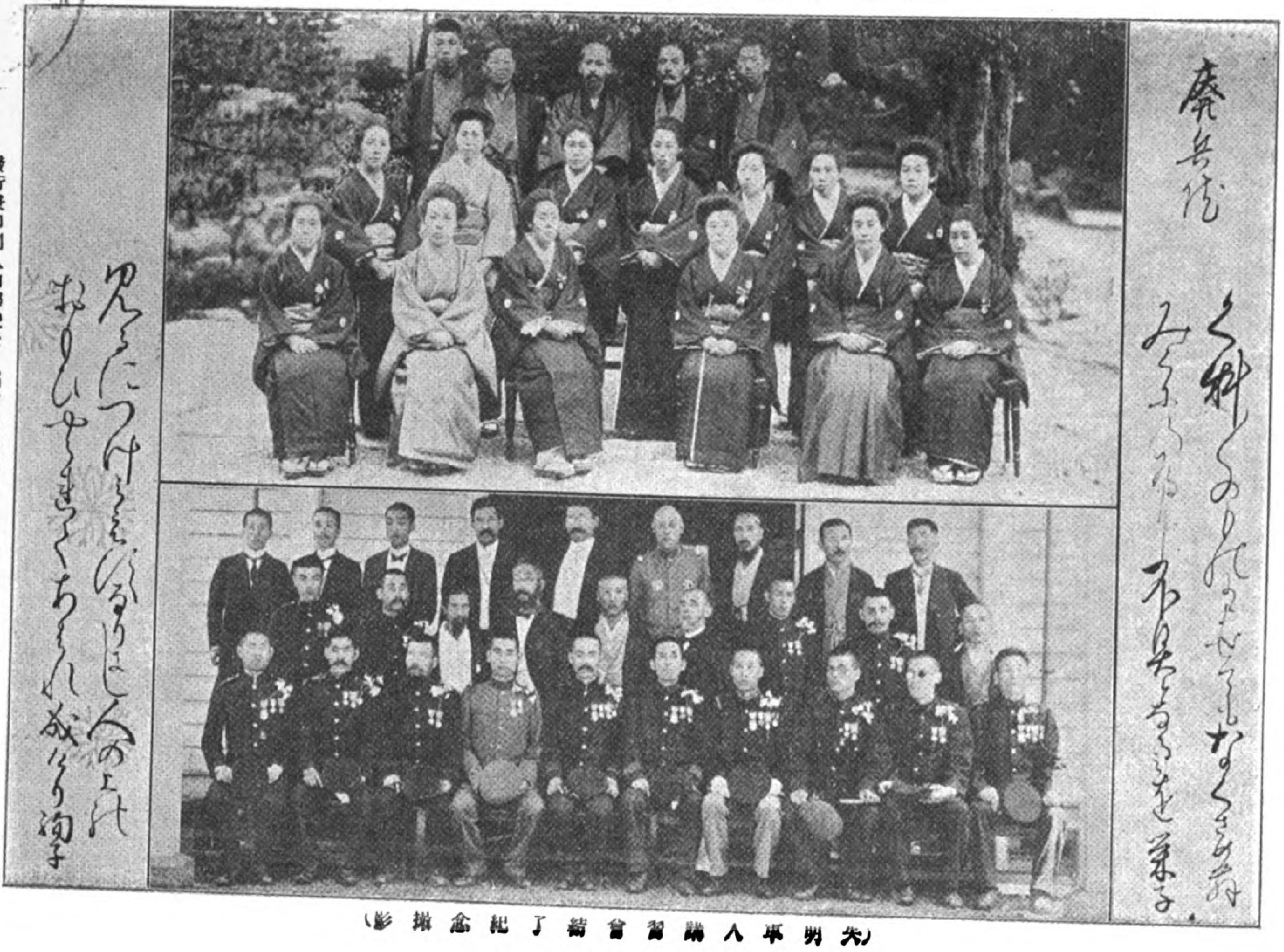
一施料はマツサージ全身五拾錢より局部三拾錢より
一鍼治は金參錢より
一日本按摩は金貳拾錢

神田區豐島町四十一番地
小田平吉
電話浪花二二四四番大野櫛皆取次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十一年十二月五日（每月二回五日廿日）發行
明治三十五年三月二十七日第三種郵便物認可

（徳島支部徳島市幹事部職員）



（失明軍人講習會結了紀念撮影）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　永持德一　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN